

平成25(2013)年度
埋藏文化財緊急発掘調査概報

高 浜 遺 跡
豊 嶋 郡 条 里 遺 跡
垂 水 中 遺 跡 C 地 点
垂 水 遺 跡
垂 水 南 遺 跡
蔵 人 遺 跡
片 山 東 屋 敷 廻 遺 跡
都 呂 須 遺 跡
七 尾 東 遺 跡

平成26(2014)年 3 月

吹田市教育委員会

序

吹田市では、昭和49(1974)年度に国庫補助事業の埋蔵文化財発掘調査を実施して以来、これまでに市内各所において数多くの発掘調査を実施してまいりました。これらの調査からは先人の残した多くの遺構・遺物を調査成果として得ることができ、その成果は博物館などでできる限り市民の皆様に還元できるように努めております。

平成25(2013)年度においては、国庫補助事業として市内に所在する遺跡に対して11件の発掘調査を、事業者をはじめとした多くの方々のご協力を得て実施しました。本市教育委員会においてはより良き文化財保護の施策ができますよう努力していく所存ではありますが、市民の皆様方におかれましても埋蔵文化財の発掘調査をはじめとする本市の文化財保護行政に対して、今後とも深いご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成26(2014)年3月

吹田市教育委員会

教育長 梶谷 尚 義

例言

1. 本書は平成25年度国庫補助事業として実施した、高浜遺跡、豊嶋郡条里遺跡、垂水中遺跡C地点、垂水遺跡、垂水南遺跡、蔵人遺跡、片山東屋敷廻遺跡、都呂須遺跡、七尾東遺跡の緊急発掘調査をまとめたものである。
2. 発掘調査地点は次のとおりである。

高浜遺跡	吹田市高浜町935-3
高浜遺跡	吹田市高浜町925-1、925-6
豊嶋郡条里遺跡	吹田市泉町2-2601-2
垂水中遺跡C地点	吹田市垂水町3-946-30
垂水遺跡	吹田市円山町347-4
垂水遺跡	吹田市垂水町1-772-2、773の各一部
垂水南遺跡	吹田市垂水町3-952-19の一部
蔵人遺跡	吹田市豊津町608-6の一部
片山東屋敷廻遺跡	吹田市片山町4-2894-14
都呂須遺跡	吹田市元町1080-11
七尾東遺跡	吹田市山田南166-3
3. 発掘調査の整理作業は吹田市岸部北4丁目10番1号、吹田市立博物館で実施し、資料の保管も同所において行っている。
4. 本文の執筆は、第5章及び第10章を賀納章雄が、他は西本安秀が行った。

発掘調査参加者名簿

調査主体	吹田市教育委員会
調査指導	大阪府教育委員会文化財保護課
調査担当	吹田市教育委員会吹田市立博物館文化財保護係 西本安秀、賀納章雄
調査補助員	林 裕子、木船安紀子、小川里美

目次

第1章	平成25年度埋蔵文化財発掘調査について	1
第2章	高浜遺跡の発掘調査	4
第3章	豊嶋郡条里遺跡の発掘調査	7
第4章	垂水中遺跡C地点の発掘調査	9
第5章	垂水遺跡の発掘調査	11
第6章	垂水南遺跡の発掘調査	15
第7章	蔵人遺跡の発掘調査	18
第8章	片山東屋敷廻遺跡の発掘調査	20
第9章	都呂須遺跡の発掘調査	22
第10章	七尾東遺跡の発掘調査	23

挿図目次

第1図	発掘調査地点位置図	3
第2図	高浜遺跡及び都呂須遺跡調査地周辺図	4
第3図	調査区平面図	4
第4図	土層断面図	5
第5図	調査区平面図	5
第6図	土層断面図	6
第7図	豊嶋郡条里遺跡調査地周辺図	7
第8図	調査区平面図	8
第9図	土層断面図	8
第10図	垂水中遺跡C地点及び垂水南遺跡調査地周辺図	9
第11図	調査区平面図	10
第12図	土層断面図	10
第13図	垂水遺跡調査地[第1期]周辺図	11
第14図	調査区平面図[第1期]	12
第15図	土層断面図[第1期]	12
第16図	垂水遺跡調査地[第2期]周辺図	13
第17図	調査区平面図[第2期]	14
第18図	土層断面図[第2期]	14

第19図	調査区平面図	15
第20図	土層断面図	16
第21図	出土遺物実測図	16
第22図	蔵人遺跡調査地周辺図	18
第23図	調査区平面図	19
第24図	土層断面図	19
第25図	出土遺物実測図	19
第26図	片山東屋敷廻遺跡調査地周辺図	20
第27図	調査区平面図	21
第28図	土層断面図	21
第29図	調査区平面図	22
第30図	土層断面図	22
第31図	七尾東遺跡調査地周辺図	23
第32図	調査区平面図	24
第33図	土層断面図	24

図版目次

図版 1	高浜遺跡 1	25	図版 13	垂水南遺跡 1	37
図版 2	高浜遺跡 2	26	図版 14	垂水南遺跡 2	38
図版 3	高浜遺跡 3	27	図版 15	垂水南遺跡 3	39
図版 4	高浜遺跡 4	28	図版 16	垂水南遺跡 4	40
図版 5	豊嶋郡条里遺跡 1	29	図版 17	蔵人遺跡 1	41
図版 6	豊嶋郡条里遺跡 2	30	図版 18	蔵人遺跡 2	42
図版 7	垂水中遺跡 C 地点	31	図版 19	片山東屋敷廻遺跡 1	43
図版 8	垂水中遺跡 C 地点	32	図版 20	片山東屋敷廻遺跡 2	44
図版 9	垂水遺跡 1	33	図版 21	都呂須遺跡 1	45
図版 10	垂水遺跡 2	34	図版 22	都呂須遺跡 2	46
図版 11	垂水遺跡 3	35	図版 23	七尾東遺跡	47
図版 12	垂水遺跡 4	36			

第1章 平成25(2013)年度埋蔵文化財発掘調査について

平成25(2013)年度は、高浜遺跡、豊嶋郡条里遺跡、垂水中遺跡C地点、垂水遺跡、垂水南遺跡、蔵人遺跡、片山東屋敷廻遺跡、都呂須遺跡、七尾東遺跡の9遺跡11件の発掘調査を実施した。

高浜遺跡は高浜神社とその周辺地の高浜町、南高浜町に所在し、縄文・弥生・平安時代～中世の遺跡である。これまでの調査では、検出遺構は主に縄文時代前期に形成された吹田砂堆と呼ばれる標高約5mの微高地上に展開し、中世の護国寺の基壇跡、平安時代の溝、土坑等が確認されている。特に護国寺の基壇跡調査では、創建時の基壇と礎石が検出され、中世の禅宗本堂建築の様相の一端が確認できた。また、下層で検出した溝と出土瓦(平安時代末)は、護国寺創建前の寺院の存在を推定できる資料である。なお、当地周辺では吉志部瓦窯跡の焼成瓦の出土が確認され、市域では瓦窯跡以外の出土は認められず、当該期の寺院の可能性も考えられる。今回の調査地(2件)はいずれも高浜遺跡の北東部に位置し、住宅建築工事に伴い、確認調査を実施した。

豊嶋郡条里遺跡は泉町2丁目一带に所在する縄文・弥生・古墳・鎌倉時代の遺跡で、昭和57～58(1982～1983)年に実施された発掘調査では鎌倉時代の水路跡と水田畦畔が検出された。この水路は南北延長90mにわたって検出され、両側に幅約2m、最大高0.8mの堤防を有し、幅約1.1m、深さ約0.5mを測り、両側に板材等で護岸された痕跡が残っていた。水路の方向は推定豊嶋郡条里の東限ラインに一致しており、古代に施行された条里関連遺構と考えられる。豊嶋郡条里の境界でこのような整備された水路が確認されたのは初めてであり、貴重な調査例となった。今回の調査は豊嶋郡条里遺跡の北西部に位置し、住宅建築工事に伴い、確認調査を実施した。

垂水中遺跡C地点は垂水町3丁目に所在する、古墳時代、中世の遺跡である。これまでの調査では試掘調査で古墳時代の土師器、中世の瓦器が出土し、集落遺跡と考えられるが、位置的に弥生時代の集落遺跡である垂水遺跡と古墳時代の集落遺跡である垂水南遺跡の中間的な位置にあり、両遺跡との関係が注目されている。今回の調査地は垂水中遺跡C地点の西側周辺地に位置し、住宅建築工事に伴い、試掘調査を実施した。

垂水遺跡は垂水町1・2丁目から円山町にかけて所在する遺跡である。昭和初期の住宅開発に伴って遺跡が発見され、これまでの調査で旧石器～中世の複合遺跡であることが判明している。中でも中心となるのが弥生時代の集落跡で、丘陵上に竪穴式建物跡、高床式建物跡等が確認され、弥生時代後期には大阪湾沿岸周辺の代表的な高地性集落と考えられている。今回の調査は垂水遺跡の南側周辺地及び北東側周辺地に位置し、住宅建築工事に伴い、試掘調査を実施した。

垂水南遺跡は、垂水町3丁目・江坂町1丁目に展開し、昭和41年度から行われた区画整理事業による下水管理設工事の際に発見された。これまでの調査により、弥生時代～中世期の複合遺跡であることが確認されている。中でも中心となるのが古墳時代前期～中期の集落跡で、竪

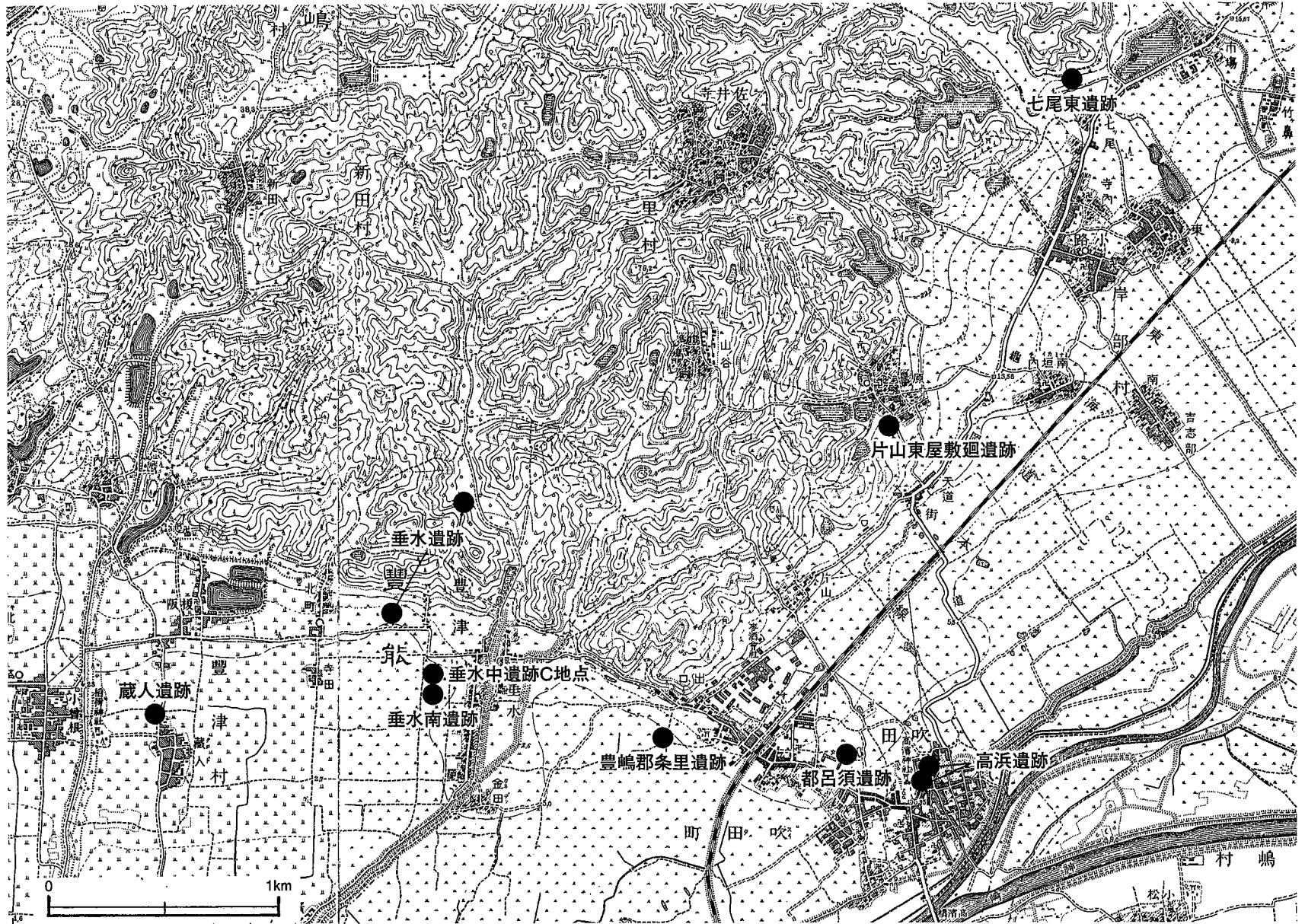
穴式建物、掘立柱建物等の建物跡、土坑、井戸、溝などが検出された。出土遺物は集落内で日常に使用された土師器が多いが、その中に東海系・山陰系・吉備系等の在地産以外の土器が含まれ、古墳時代の人々の交流の一端を示すものと考えられている。その他、金属器生産・玉造関係の生産も行われたことが確認されている。また、平安時代のものとして、河道、これに付随する木組み・堰等が検出され、特に、第5次調査で検出された河道からは「垂庄」等と書かれた墨書土器が出土し、弘仁3(812)年に成立した東寺領垂水庄に関連した遺物であることが明らかとなった。今回の調査は垂水南遺跡の北東側周辺地に位置し、住宅建築工事に伴い、試掘調査を実施した。

蔵人遺跡は江坂町2丁目に所在する、弥生時代～中世の複合遺跡である。これまでの調査で確認された主なものは中世の集落跡で、掘立柱建物跡、鍛冶工房、井戸、石組溝、水路、池、畑等が確認されている。瓦器、土師器などの日常容器の他、瓦、青磁、白磁なども出土しており、寺院や公の施設も展開している可能性がある。当地は文治5(1189)年の『撰津垂水西牧榎坂郷田畠取帳』以降室町時代に至るまで、文献資料との対比が可能な所であるのが特徴で、中世は東寺領垂水庄内に存在した蔵人村の一部と考えられている。今回の調査は蔵人遺跡の南西部に位置し、住宅建築工事に伴い、確認調査を実施した。

片山東屋敷廻遺跡は片山町4丁目の丘陵南斜面に位置する遺跡で、これまでの調査で奈良時代の掘立柱建物、溝、土坑、ピット群が確認され、奈良時代の集落遺跡と考えられる。今回の調査は片山東屋敷廻遺跡の南東側周辺地に位置し、住宅建築工事に伴い、試掘調査を実施した。

都呂須遺跡は元町、内本町2丁目に所在する遺跡である。これまでの調査で中世の溝、土坑、ピット等、近世の土坑等が確認され、中世～近世の集落遺跡と考えられる。今回の調査は都呂須遺跡の北東側周辺地に位置し、住宅建築工事に伴い、試掘調査を実施した。

七尾東遺跡は縄文～弥生時代、中世の遺跡である。これまでの調査で弥生時代の竪穴式建物跡、溝、土坑、ピット等が確認されている。第1次調査で検出された竪穴式建物跡は円形の建物跡で復元径約8.4mを測る。建物内から5条の周溝が検出され、最低5回の建て替えがあったことが推測される。住居跡の中央付近に炉穴が確認されている。時期は出土遺物から弥生時代中期(Ⅳ様式)の所産と考えられる。市内での弥生時代の明確な竪穴式建物跡の検出例は、垂水遺跡に次ぎ2例目であり、貴重な調査例となった。今回の調査は七尾東遺跡の北側周辺地に位置し、住宅建築工事に伴い、試掘調査を実施した。



第1図 発掘調査地点位置図 [明治41(1908)年測量地図]

第2章 高浜遺跡の発掘調査

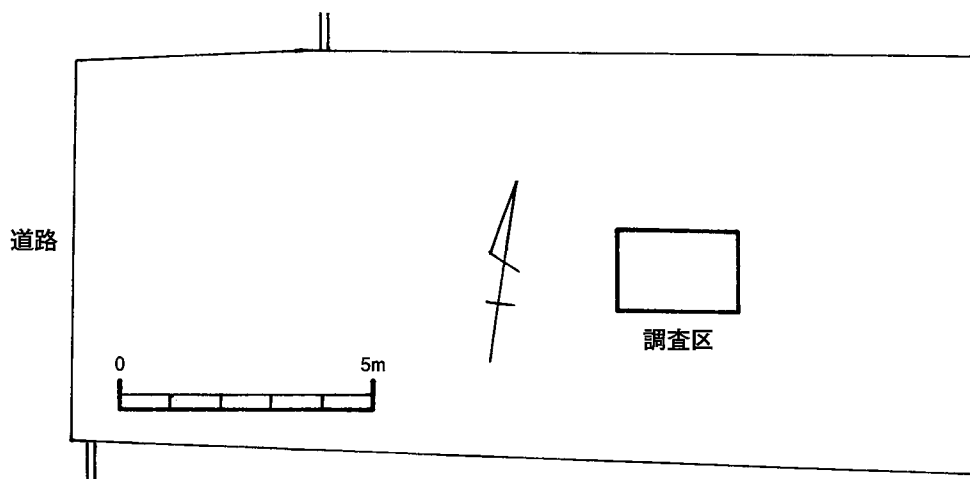


第2図 高浜遺跡及び都呂須遺跡調査地周辺図 [1:5,000]

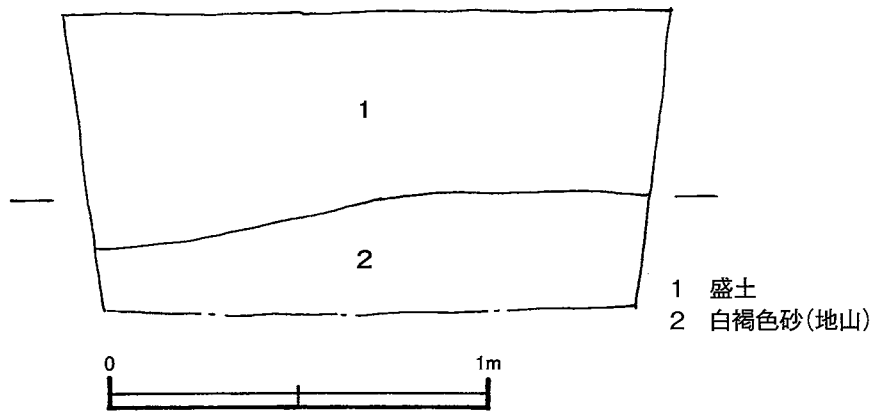
1. 高浜町935-3における発掘調査 [第1期]

(1) 調査の経過

今回の発掘調査は住宅の建築に伴い、遺構・遺物包含の有無の確認を目的として平成25(2013)年5月20日に事前に調査を実施したものである。調査では調査区を1か所設定(調査面積約2㎡)し、重機を使用して実施した。



第3図 調査区平面図



第4図 土層断面図

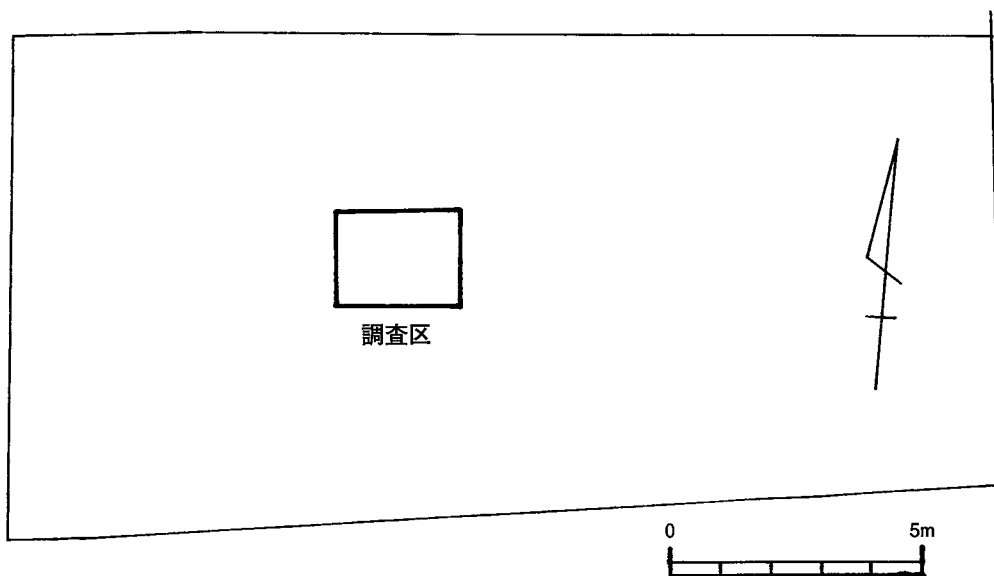
(2) 調査の成果

基本層序は1層(現代盛土)、2層(白褐色砂 地山)で地表下約0.8mまでの土層堆積状況を確認した。これらの層からは埋蔵文化財は認められなかった。2層の地山層は既に攪乱を受け、遺構の展開する生活面は残っていないと判断される。

2. 高浜町925-1、925-6における発掘調査[第2期]

(1) 調査の経過

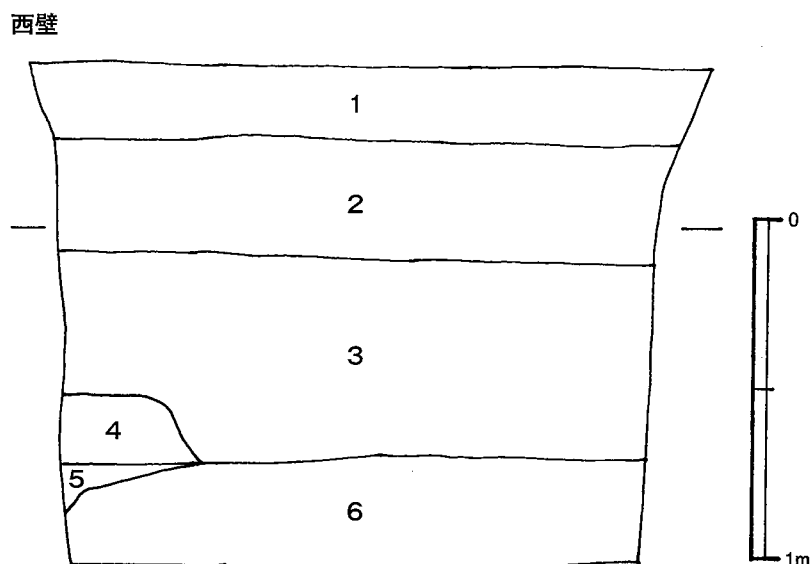
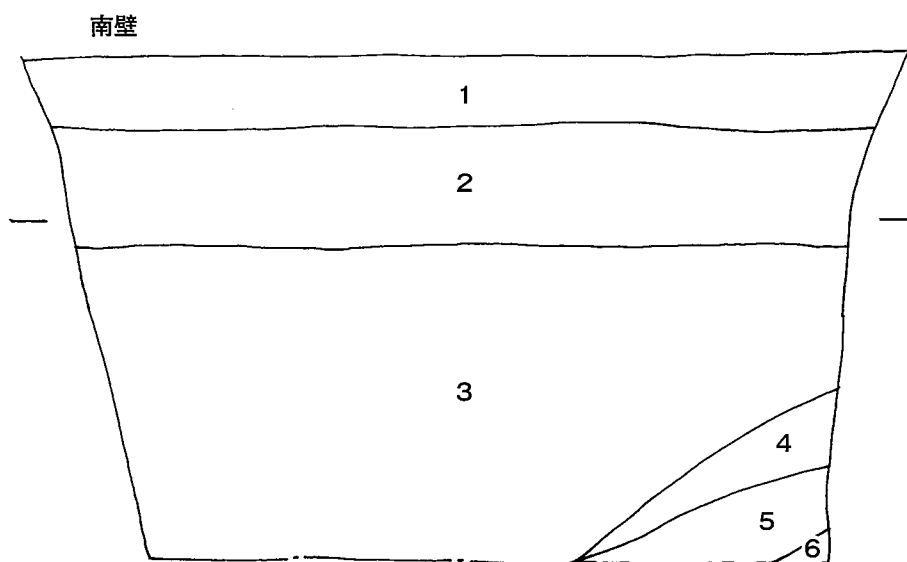
今回の発掘調査は住宅の建築に伴い、遺構・遺物包含の有無の確認を目的として平成25(2013)年8月27日に事前に調査を実施したものである。調査では調査区を1か所設定(調査面積約5.2㎡)し、重機を使用して実施した。



第5図 調査区平面図

(2) 調査の成果

基本層序はⅠ層 現代盛土(①黄色砂、②黒褐色土、③淡黒褐色土)、Ⅱ層(④淡茶褐色砂質土、⑤淡赤褐色砂質土)、Ⅲ層 地山(⑥褐色砂)で地表下約1.5mまでの土層堆積状況を確認した。これらの層からは明確な埋蔵文化財は確認されなかった。



- | | | |
|-----|----------|------------|
| 土層序 | 1. 黄色砂 | 4. 淡茶褐色砂質土 |
| | 2. 黒褐色土 | 5. 淡赤褐色砂質土 |
| | 3. 淡黒褐色土 | 6. 褐色砂(地山) |

第6図 土層断面図

第3章 豊嶋郡条里遺跡の発掘調査

1. 泉町2丁目2601-2における発掘調査

(1) 調査の経過

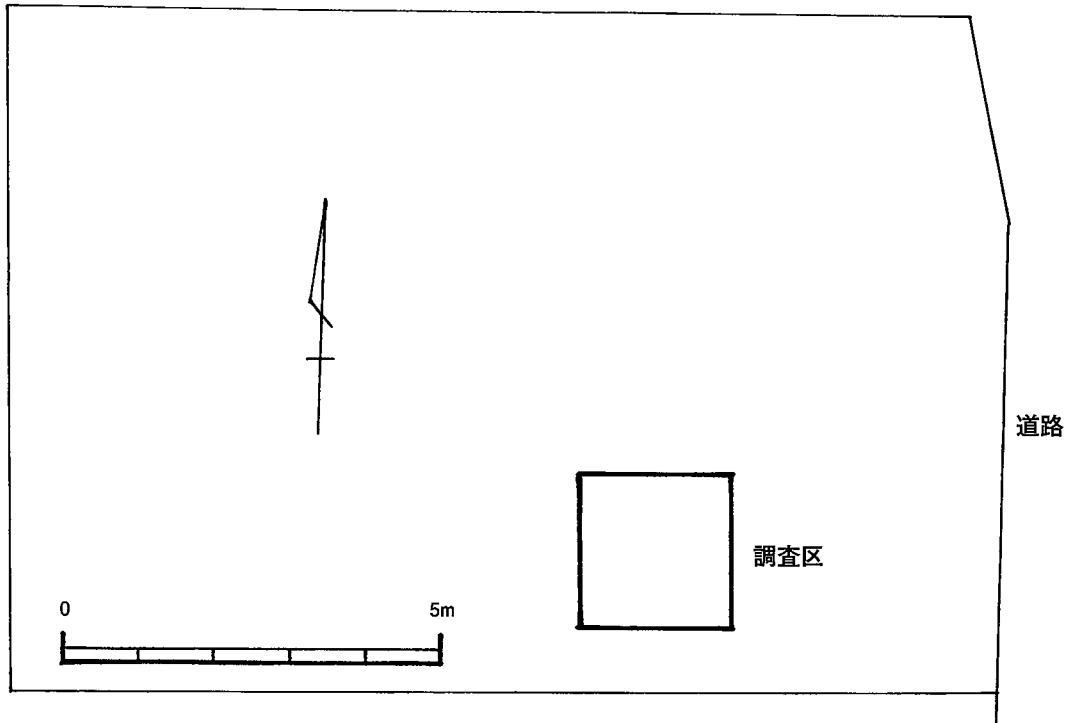
今回の発掘調査は住宅の建築に伴い、遺構・遺物包含の有無の確認を目的として平成25(2013)年7月4日に事前に調査を実施したものである。

(2) 調査の成果

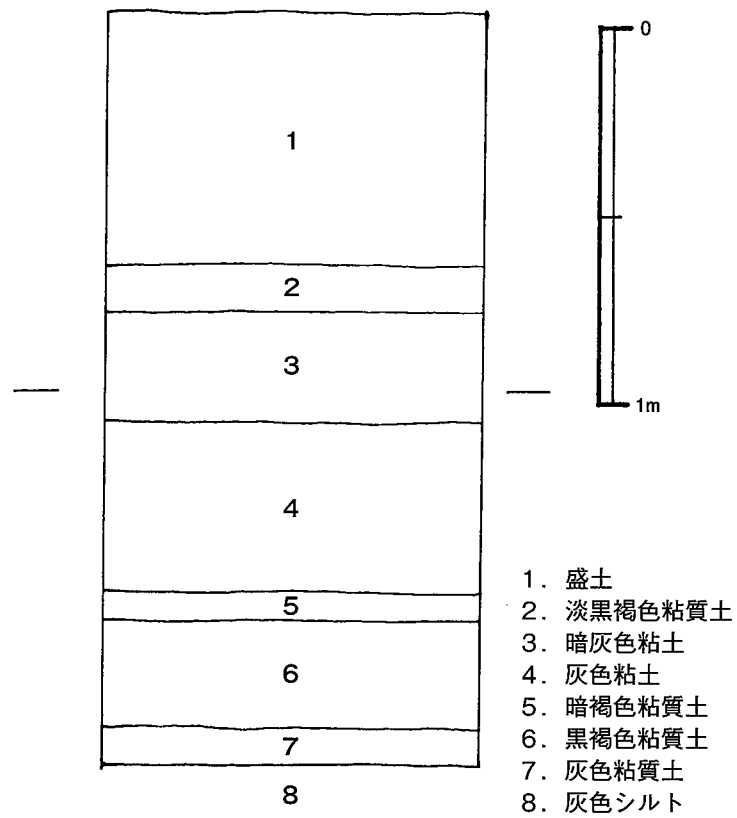
調査区を1か所設定(調査面積4㎡)し、重機を使用して実施した。基本層序は1層(現代盛土)、2層(淡黒褐色粘質土 現代水田)、3層(暗灰色粘土)、4層(灰色粘土)、5層(暗褐色粘質土)、6層(黒褐色粘質土、植物遺体を含む)、7層(灰色粘質土)、8層(灰色シルト)で地表下約2mまでの土層堆積状況を確認した。これらの層からは埋蔵文化財は認められなかった。



第7図 豊嶋郡条里遺跡調査地周辺図 [1:2,500]



第8図 調査区平面図



第9図 土層断面図

第4章 垂水中遺跡C地点の発掘調査

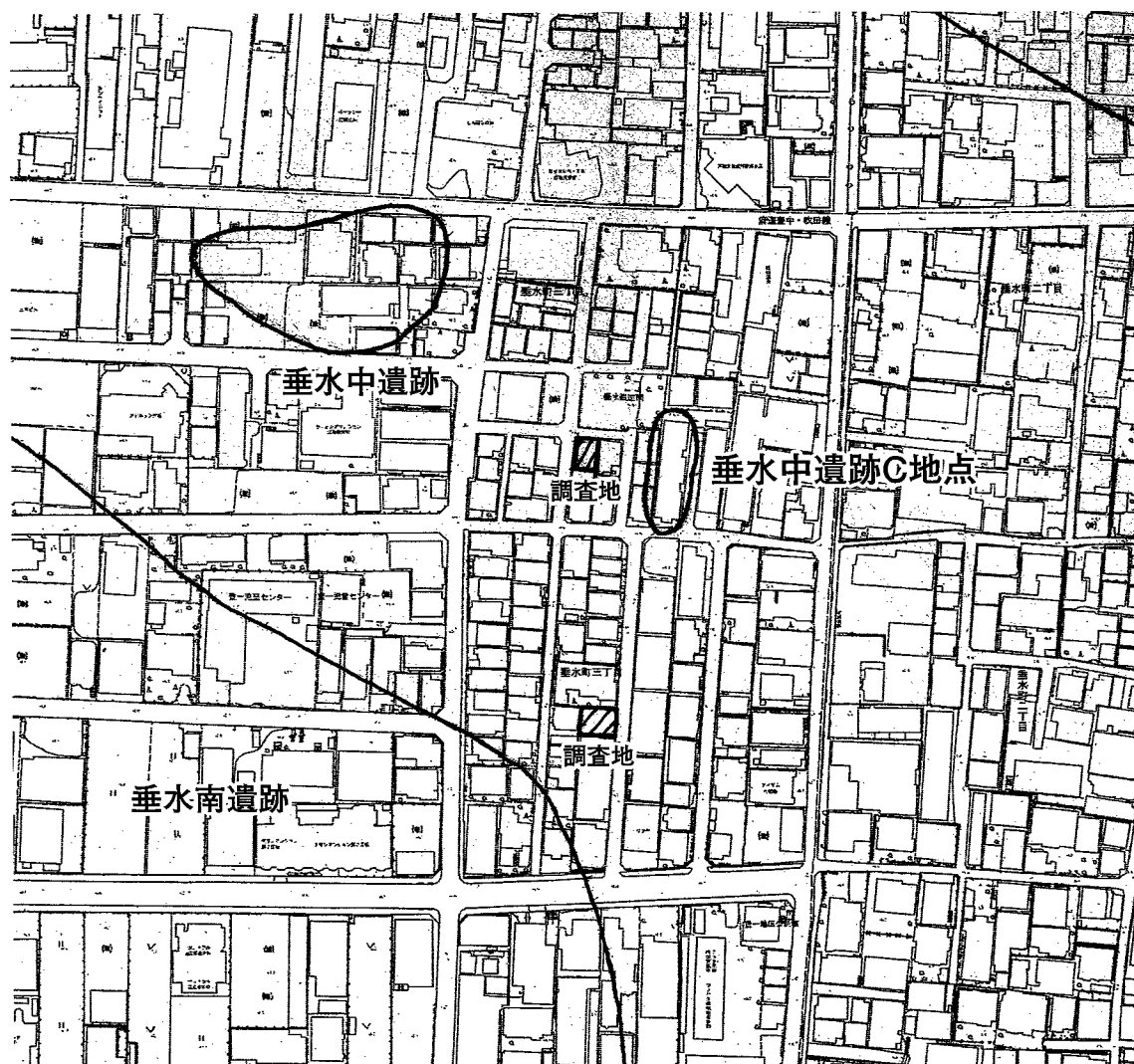
1. 垂水町3丁目946-30における発掘調査

(1) 調査の経過

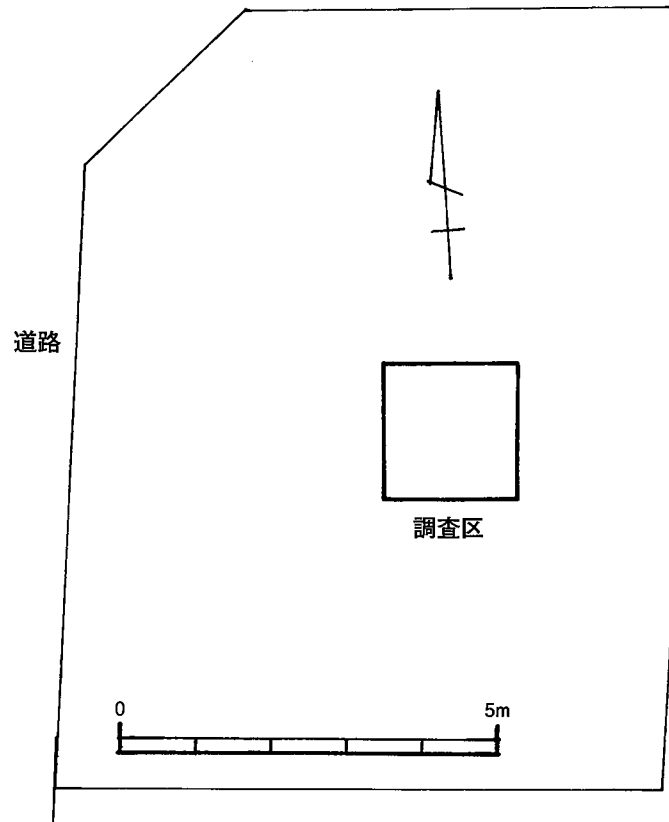
今回の発掘調査は住宅の建築に伴い、遺構・遺物包含の有無の確認を目的として平成25(2013)年8月28日に事前に調査を実施したものである。

(2) 調査の成果

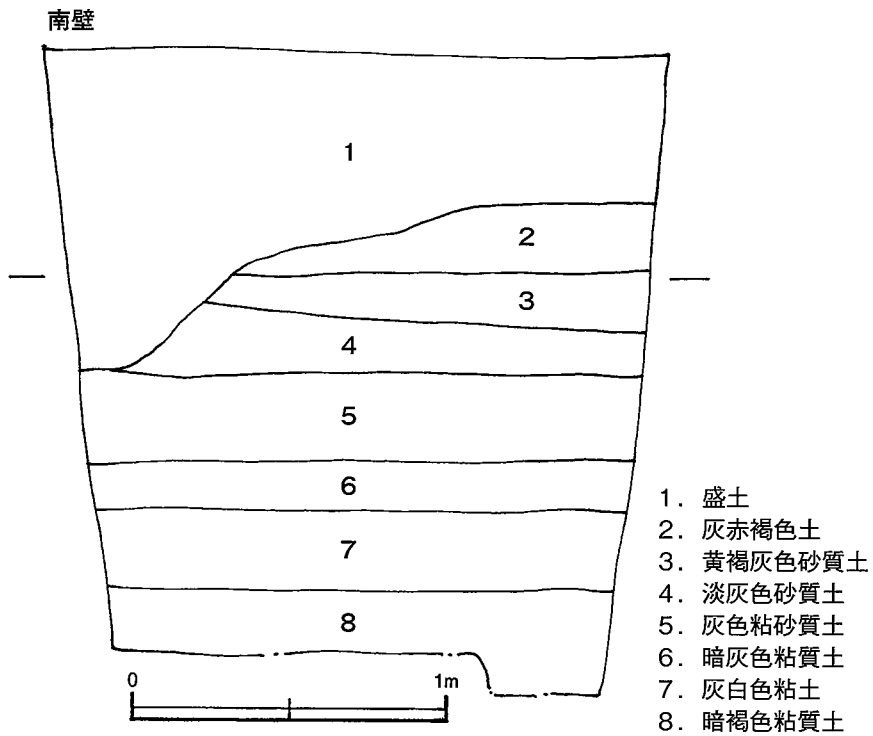
調査区を1か所設定(調査面積約3.2㎡)し、重機を使用して実施した。基本層序はI層①現代盛土、II層②灰赤褐色土、③黄褐灰色砂質土、④淡灰色砂質土、⑤灰色粘砂質土)、III層⑥暗灰色粘質土、⑦灰白色粘土、⑧暗褐色粘質土)で地表下約2mまでの土層堆積状況を確認した。これらの層からは明確な埋蔵文化財は確認されなかった。



第10図 垂水中遺跡C地点及び垂水南遺跡調査地周辺図 [1:2,500]



第11図 調査区平面図



第12図 土層断面図

第5章 垂水遺跡の発掘調査

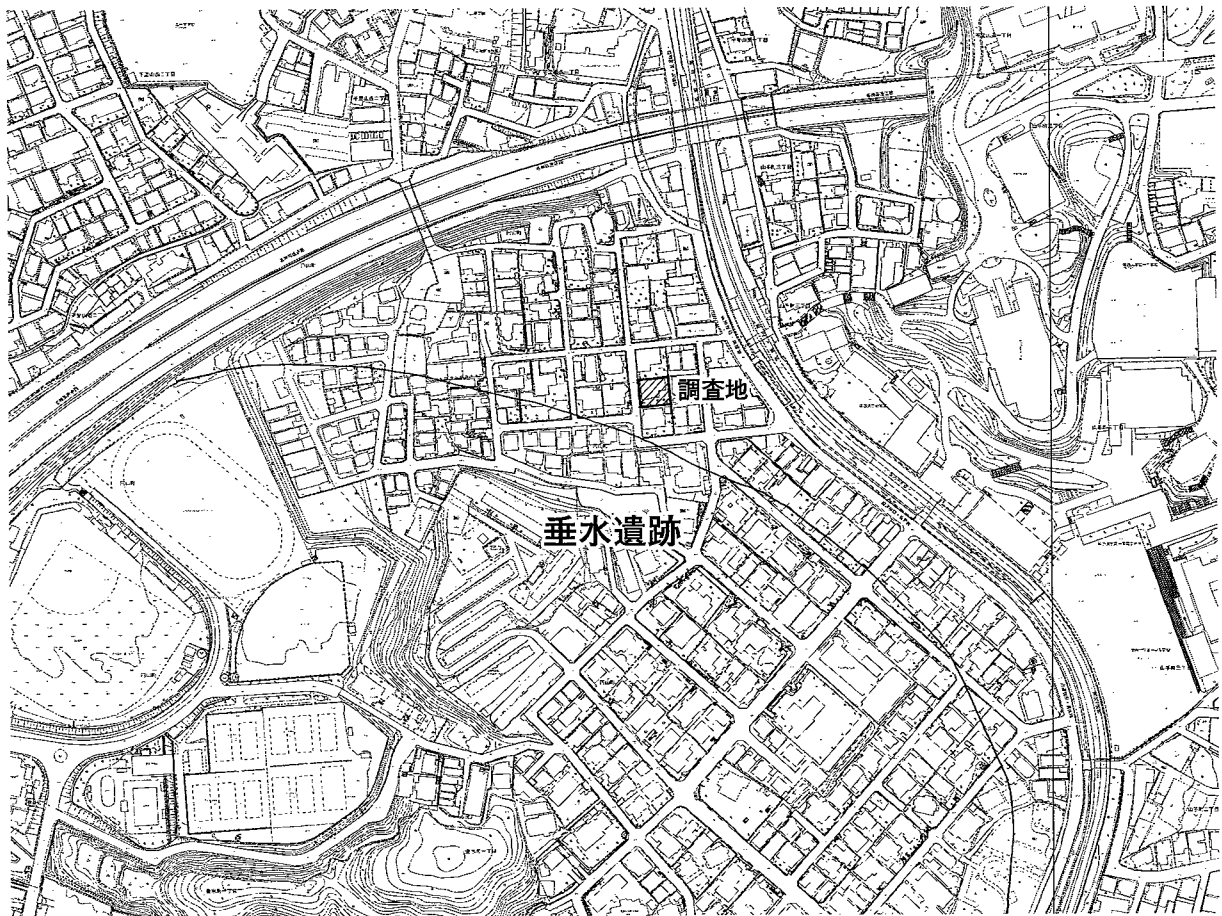
1. 円山町347-4における発掘調査〔第1期〕

(1) 調査の経過

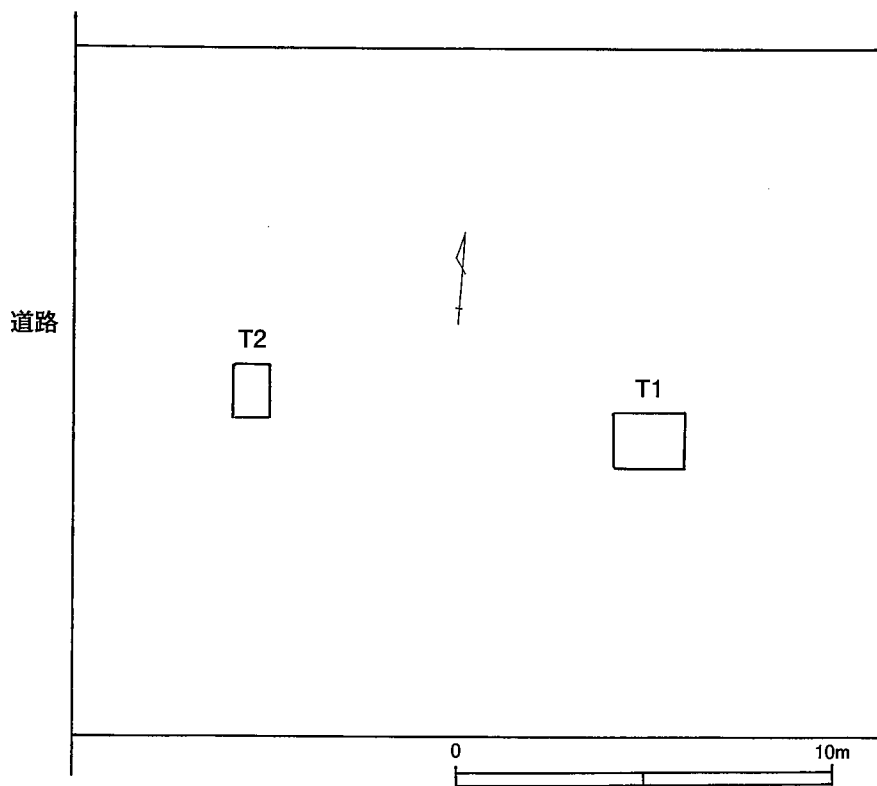
今回の発掘調査は、垂水遺跡の周辺地となる当調査地において住宅の建築が計画されたことから事前に実施したものであり、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、平成25(2013)年10月8日に調査区を2ヶ所(約4.4㎡)設定し、重機を用いて実施した。

(2) 調査の成果

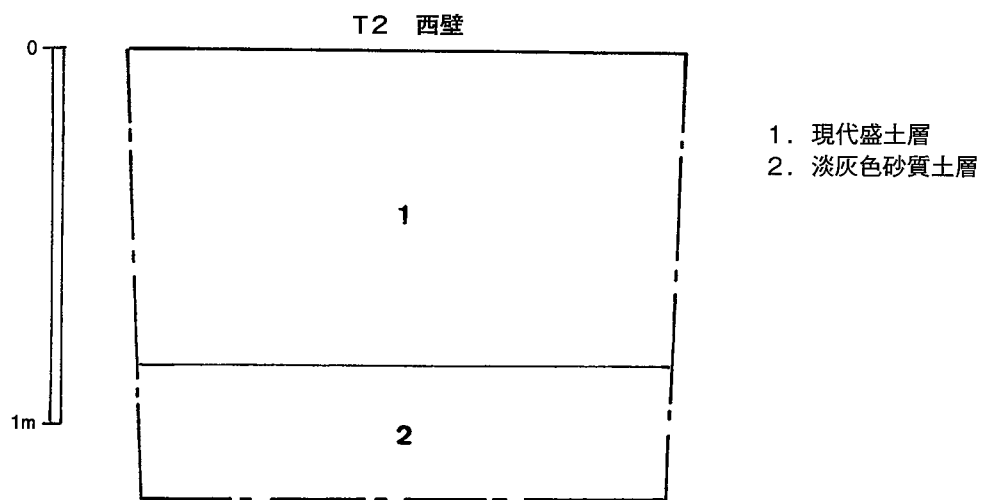
調査区を掘削したところ、T1では、現地表面から約2mの深さまで現代盛土層が認められるのみであり、T2では、現地表面から約85cmの深さで現代盛土層〔第1層〕直下において地山層である淡灰色砂質土層〔第2層〕の堆積が認められた。両調査区において明確な遺構・遺物については確認されなかった。



第13図 垂水遺跡調査地〔第1期〕周辺図 [1:5,000]



第14図 調査区平面図 [第1期]



第15図 土層断面図 [第1期]

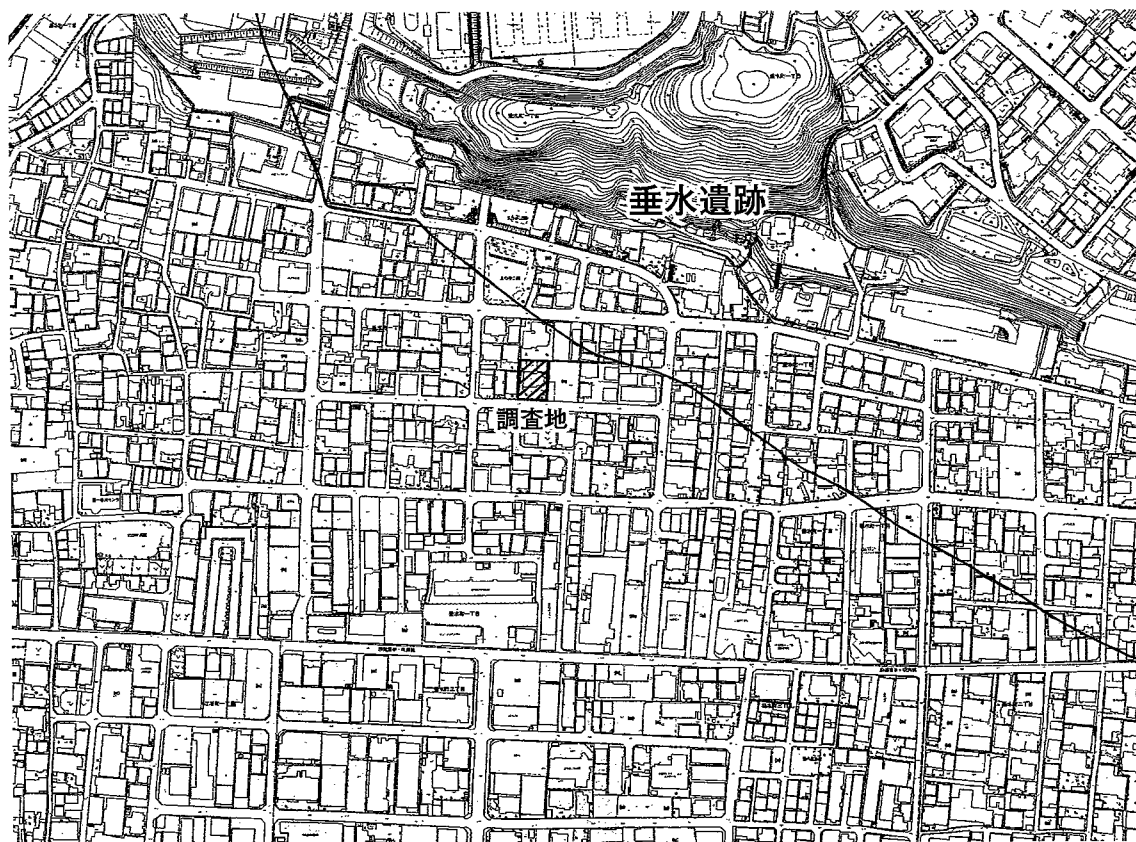
2. 垂水町1丁目772-2、773の各一部における発掘調査[第2期]

(1) 調査の経過

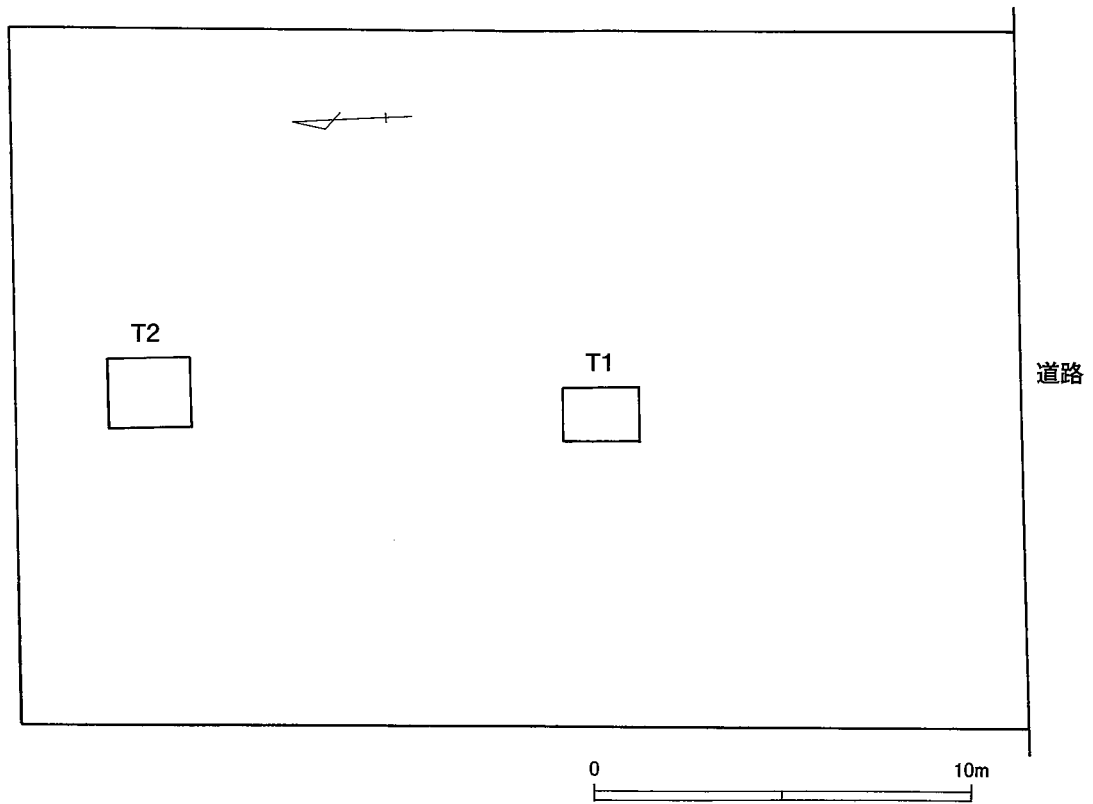
今回の発掘調査は、垂水遺跡の周辺地となる当調査地において住宅の建築が計画されたことから事前に実施したものであり、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、平成25(2013)年11月18日に調査区を2ヶ所(約7.6㎡)設定し、重機を用いて実施した。

(2) 調査の成果

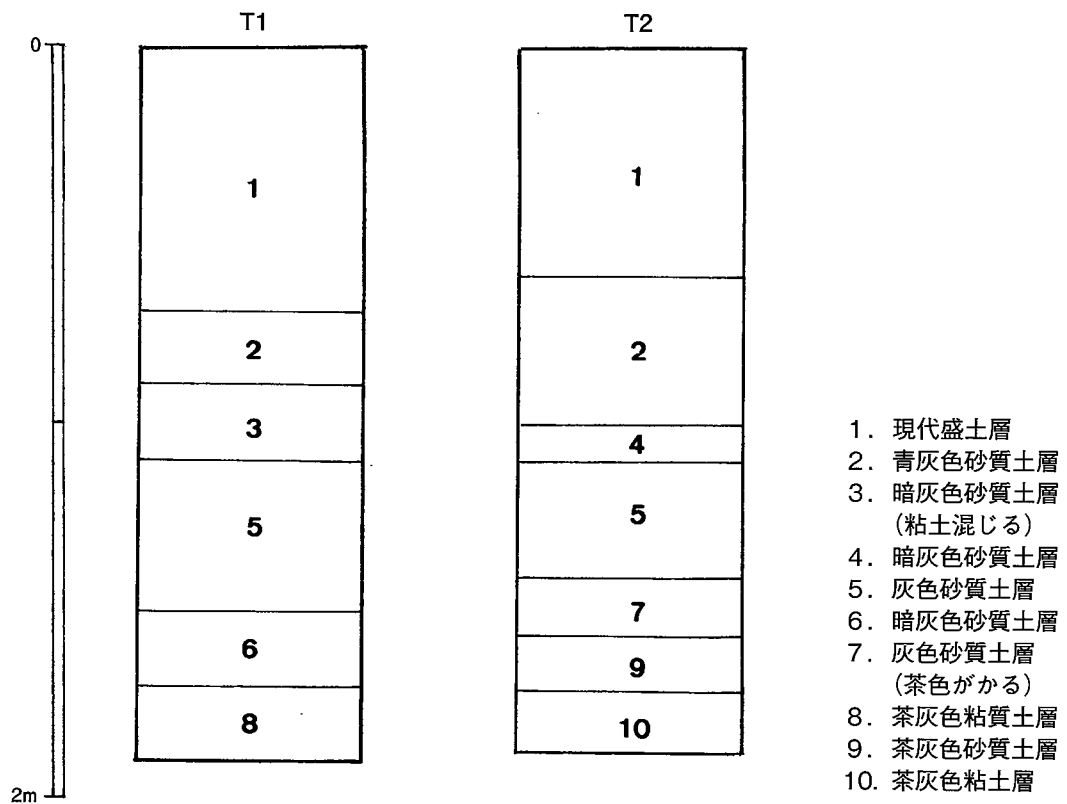
調査区を掘削したところ、T1では、現代盛土層[第1層]以下、青灰色砂質土層[第2層]、暗灰色砂質土(粘土混じる)層[第3層]、灰色砂質土層[第5層]、暗灰色砂質土層[第6層]、茶灰色粘質土層[第8層]の堆積が認められ、このうち、第6層において中世の土師器片が1点出土した。また、T2では、現代盛土層以下、青灰色砂質土層[第2層]、暗灰色砂質土層[第4層]、灰色砂質土層[第5層]、灰色砂質土(茶色がかかる)層[第7層]、茶灰色砂質土層[第9層]、茶灰色粘土層[第10層]の堆積が認められ、このうち、灰色砂質土層[第5層]において中世の土師器片1点が出土した。これら2ヶ所の調査区から出土した土師器片についてはいずれも細片であり、他所から流れ込んだ二次的な堆積によるものと考えられ、今回の発掘調査において一次的な堆積による明確な遺構・遺物は確認されなかった。



第16図 垂水遺跡調査地[第2期]周辺図 [1:5,000]



第17図 調査区平面図 [第2期]



第18図 土層断面図 [第2期]

第6章 垂水南遺跡の発掘調査

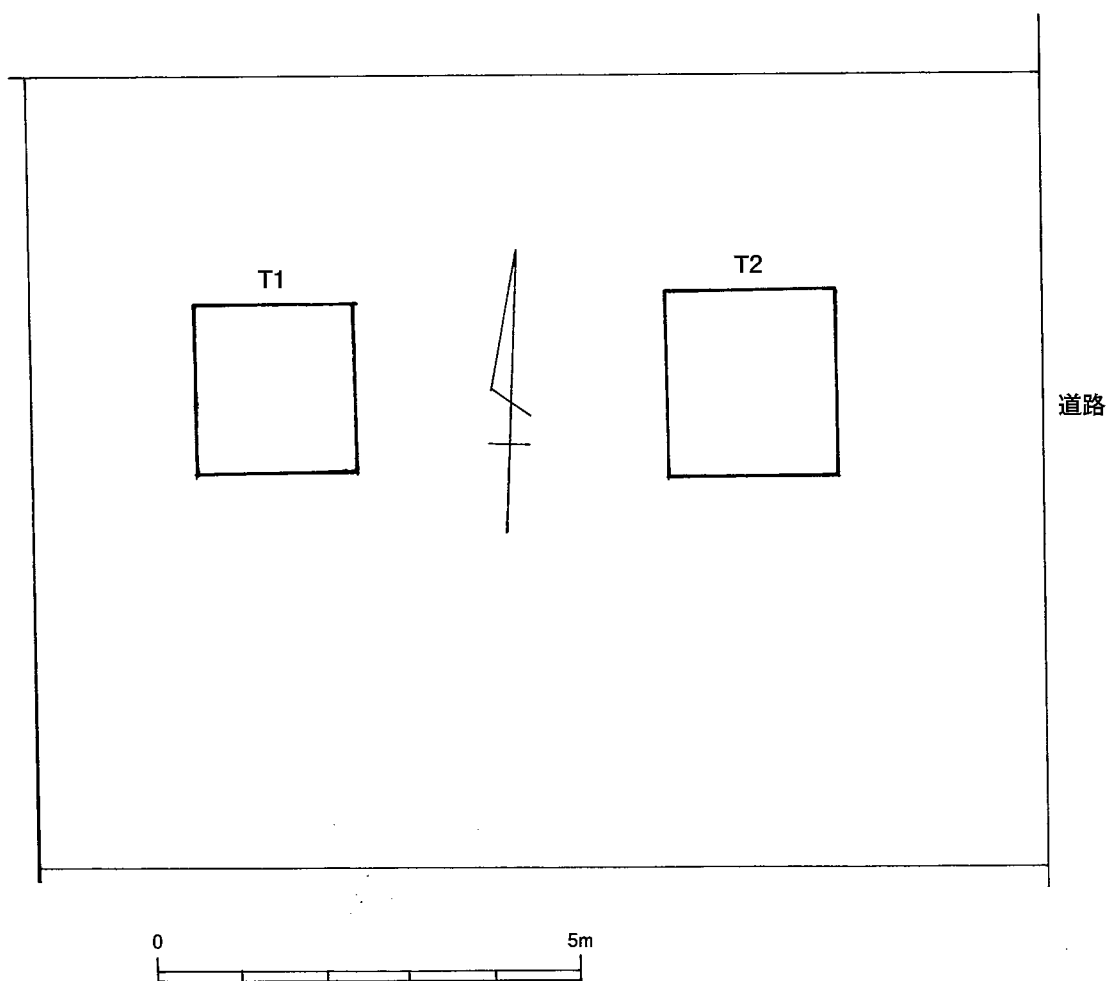
1. 垂水町3丁目952-19の一部における発掘調査

(1) 調査の経過

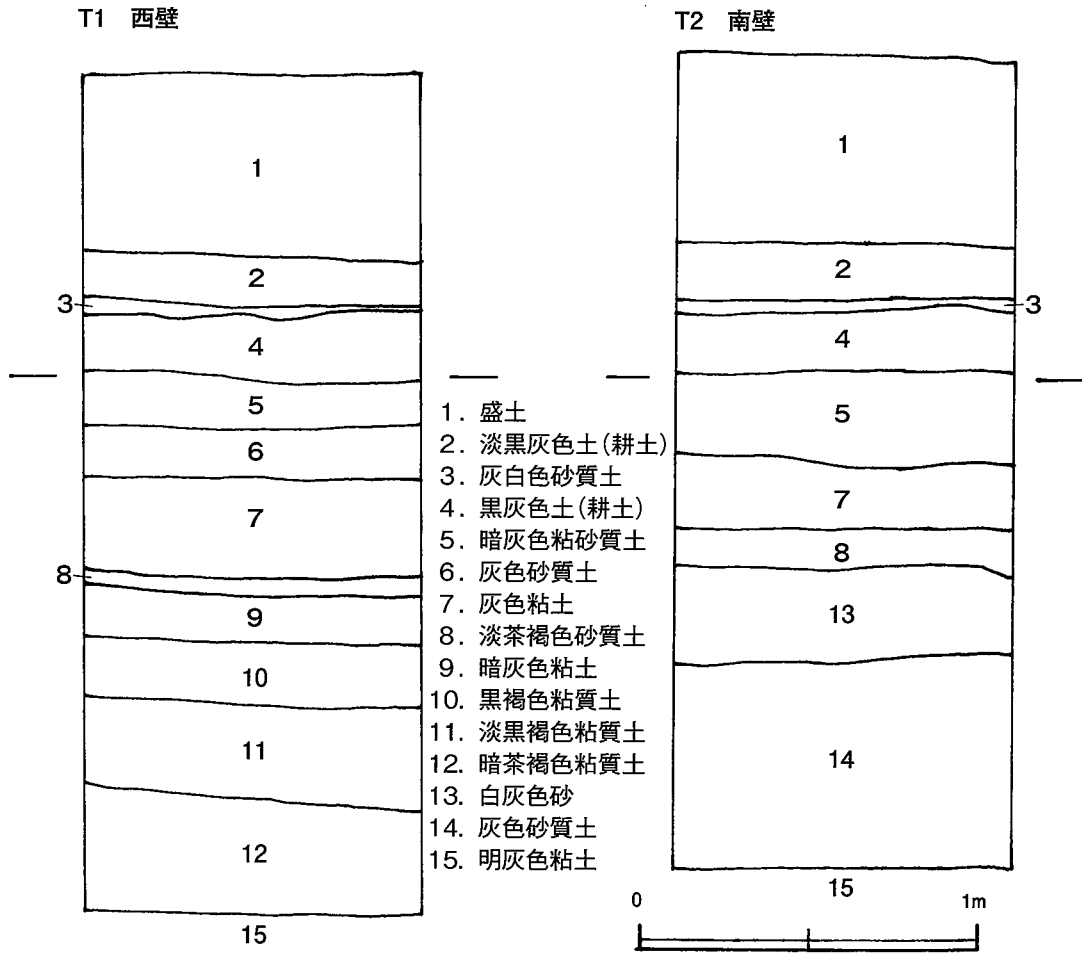
今回の発掘調査は住宅の建築に伴い、遺構・遺物包含の有無の確認を目的として平成25(2013)年11月29日に事前に調査を実施したものである。

(2) 調査の成果

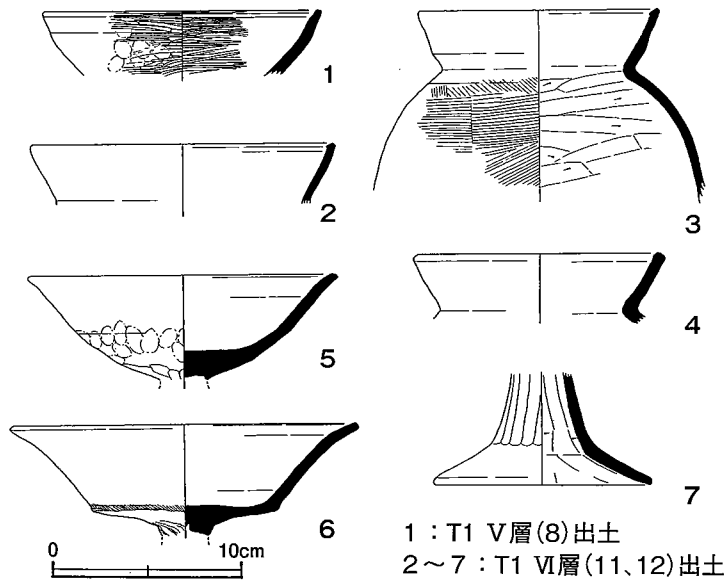
調査区を2か所設定(調査面積合計約8.4㎡)し、重機を使用して実施した。基本層序はI層(①現代盛土、II層(②耕土、③灰白色砂質土、④耕土)、III層(⑤暗灰色粘砂質土、⑥灰色砂質土)、IV層(⑦灰色粘土、中世)、V層(⑧淡茶褐色砂質土、⑨暗灰色粘土、⑩黒褐色粘質土)、VI層(⑪淡黒褐色粘質土、⑫暗茶褐色粘質土 古墳時代遺物包含層)、VII層(⑬白灰色砂、⑭灰色砂質土)、VIII層(⑮明灰色粘土)で地表下約2.5mまでの土層堆積状況を確認した。これらの土層のうち、T1のV層(⑧層)から平安時代の黒色土器片、須恵器片が出土し、T2のV層(⑧層)



第19図 調査区平面図



第20图 土层断面图



第21图 出土遺物実測图

から土師器細片が出土した。また、T 1 のⅥ層 (⑪・⑫層) から古墳時代の土器破片が多量に出土した。これ以下の層では明確な埋蔵文化財は確認されなかった。

Ⅵ層の出土遺物は土師器の壺、甕、高杯、須恵器の甕等 (古墳時代) で、遺物収納箱約 1 箱分出土した。そのうち遺存状況の良好なものを図示し、記述する。遺物の出土層は (1) は T 1 V 層⑧、(2～7) は T1 Ⅵ層⑪⑫である。

(1) は黒色土器碗 A 類で、内弯する体部を持ち、口縁端部は丸くおさめている。口縁内面に沈線がめぐる。内外面とも横方向のヘラミガキが密に施されている。復元径約 14.6cm、遺存高 3.5cm を測る。

(2～4) は土師器甕である。(2) は口縁部破片で、やや内弯気味の口頸部をもち、口縁端部は内側に肥厚し、内傾する口縁端面をもつ。復元径約 16cm、遺存高 3.2cm を測る。(3) は口縁部～体部破片で球形の胴部を持つ。頸部はくの字状に屈曲し、内弯気味の口頸部が外上方に伸び、口縁端部は内側に肥厚し、内傾する端面をもつ。体部外面は下部はヨコ方向のハケ、頸部付近はタテ方向のハケ、体部内面はヨコ方向のヘラケズリを施す。口頸部は内外面ともヨコナデを施す。復元径 12.6cm、遺存高 10.3cm を測る。(4) は口頸部破片で復元径 12.6cm、遺存高 3.7cm を測る。やや内弯気味の口頸部で口縁端部はわずかに内側に肥厚し、外上面に端面を有する。

(5～7) は土師器高杯である。(5) は杯部破片で復元径 16cm、遺存高 5.5cm を測る。口縁端部は外反し、端部は丸くおさめている。外面は上部ヨコナデ、下部指押さえの後、ナデを施している。内面はナデを施している。(6) は杯部破片で水平に伸びる杯部底から大きく屈曲して外反する口縁部を持ち、口縁端部は弱く端面を持つ。復元径 18.2cm、遺存高 5.9cm を測る。外面はナデ及び横ナデ、内面は横ナデを施す。外面屈曲部に縦方向のハケが施される。(7) は脚部破片で底部復元径 11.4cm、遺存高 6 cm を測る。外面上部は縦方向の面取り様ナデ、下部はナデを施し、内面上部は横方向のヘラケズリ、下部はナデを施すが、一部に布目圧痕が残る。

以上、今回の発掘調査では明確な遺構が認められなかったが、V 層⑧から平安時代の土器が少量出土し、Ⅵ層⑪⑫から古墳時代の土器が多量に出土した。出土した古墳時代の土器はいわゆる布留式土器で、これまでに垂水南遺跡で出土した土器に共通するものであり、当調査地点にも垂水南遺跡の範囲が広がっていることが判明した。

第7章 蔵人遺跡の発掘調査

1. 豊津町608-6の一部における発掘調査

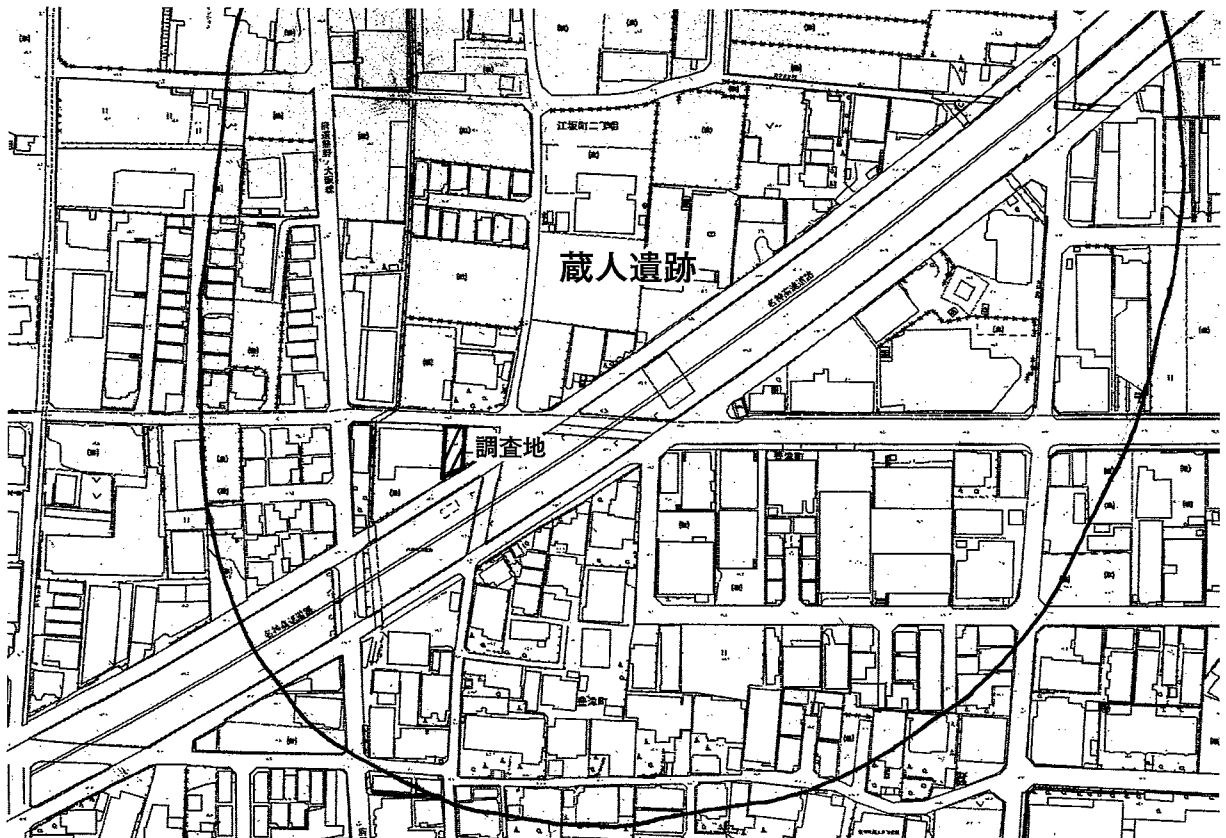
(1) 調査の経過

今回の発掘調査は住宅の建築に伴い、遺構・遺物包含の有無の確認を目的として平成25(2013)年12月4日に事前に調査を実施したものである。

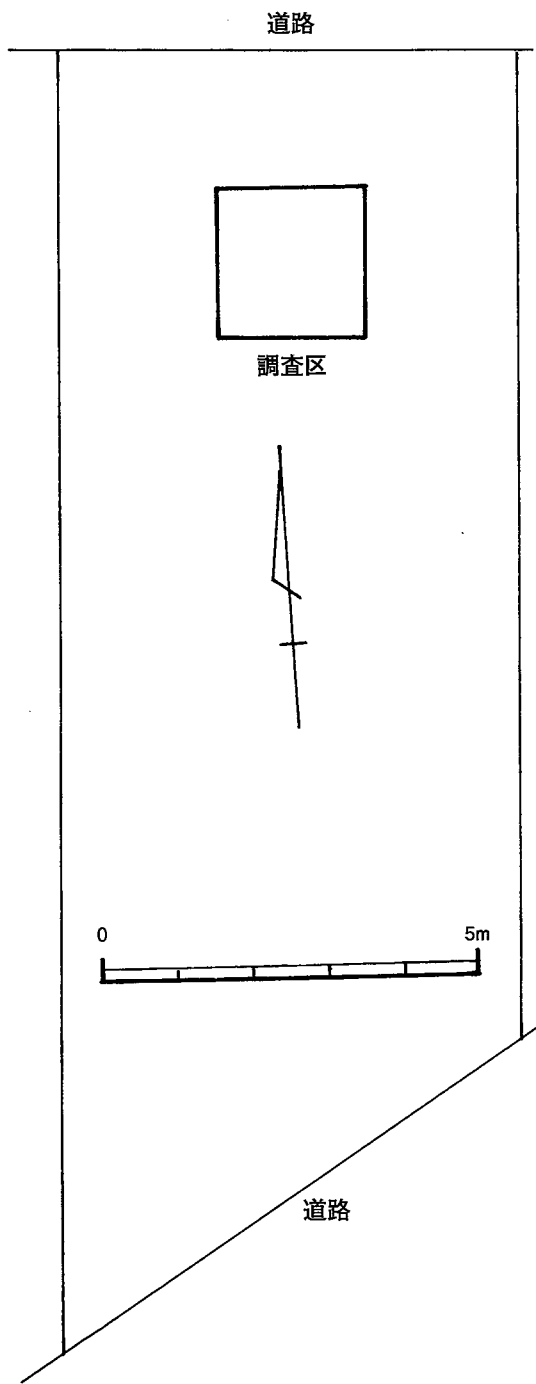
(2) 調査の成果

調査区を1か所設定(調査面積約4㎡)し、重機を使用して実施した。基本層序はI層(①現代盛土)、II層(②現代耕土)、III層(③暗灰色砂質土、④灰色砂質土)、IV層(⑤茶褐色砂)、V層(⑥黒灰色砂質土、⑦灰色砂)で地表下約2.1mまでの土層堆積状況を確認した。これらの土層から遺構は認められず、遺物はV層(⑥黒灰色砂質土)で瓦器・土師器破片(中世)が出土したが、少量の破片であることから周辺からの流れ込みによるものと判断される。

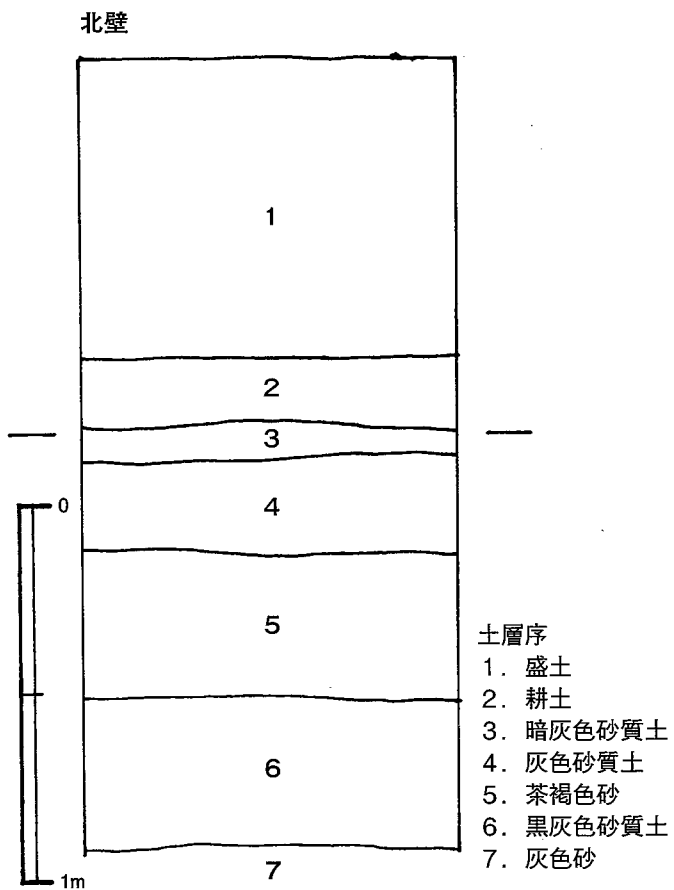
(1)はV層⑥出土の瓦器椀底部破片で、底復元径3.8cm、遺存高1.5cmを測る。底部ははりつけ高台で、断面の形状は三角形を呈する。外面は押圧調整、内面はまばらなヘラミガキを施している。



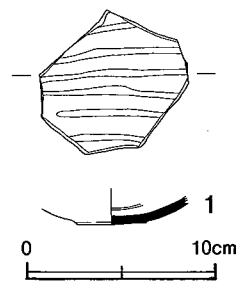
第22図 蔵人遺跡調査地周辺図 [1:2,500]



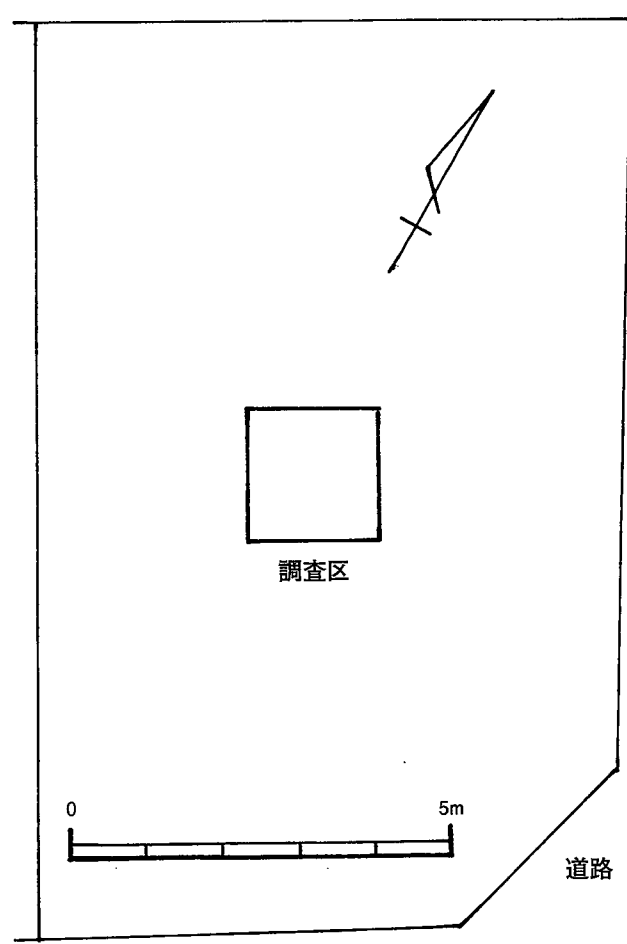
第23图 調査区平面図



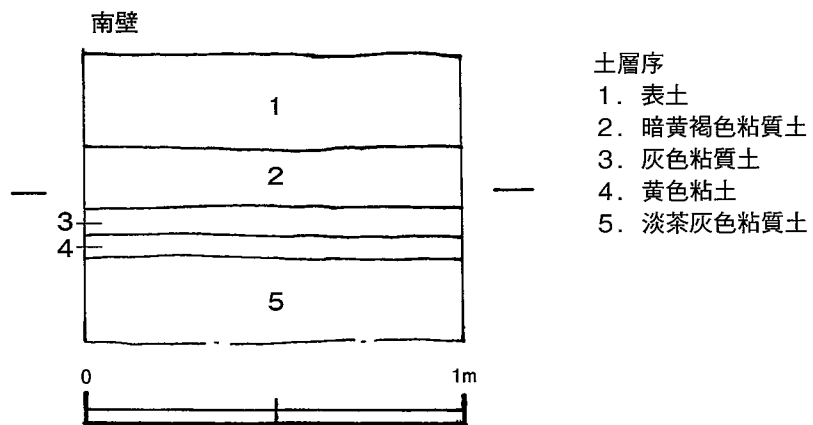
第24图 土層断面図



第25图 出土遺物実測図



第27図 調査区平面図



第28図 土層断面図

第9章 都呂須遺跡の発掘調査

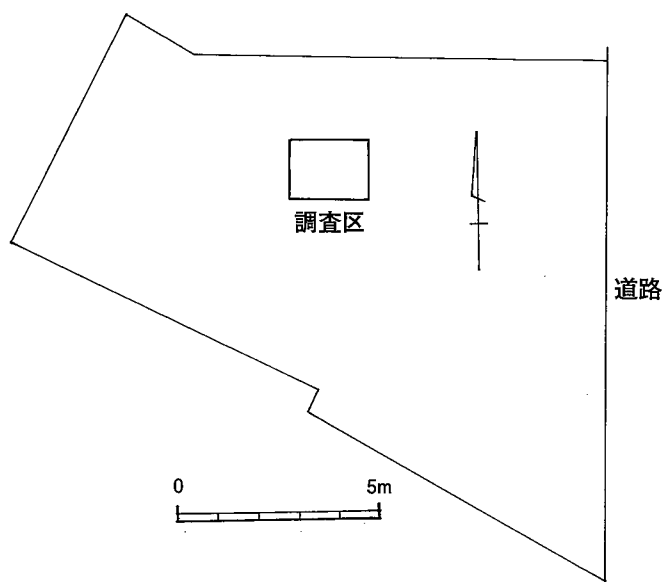
1. 元町1080-11における発掘調査

(1) 調査の経過

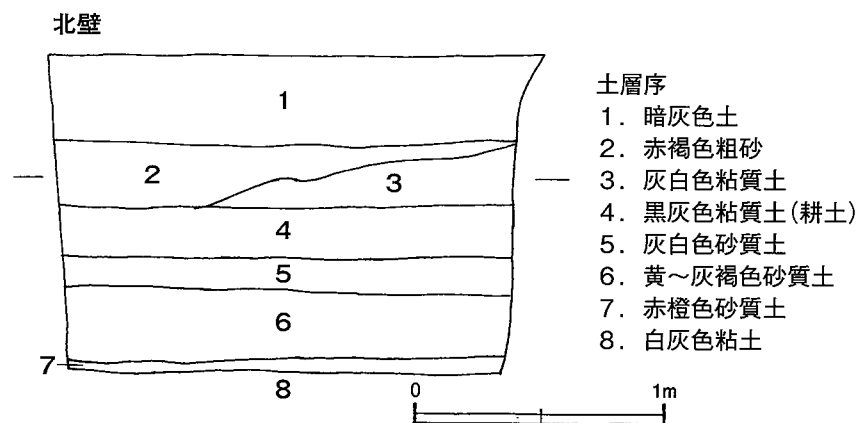
今回の発掘調査は住宅の建築に伴い、遺構・遺物包含の有無の確認を目的として平成25(2013)年12月19日に事前に調査を実施したものである。

(2) 調査の成果

調査区を1か所設定(調査面積3㎡)し、重機を使用して実施した。基本層序はI層(①暗灰色土、②赤褐色粗砂、③灰白色粘質土)、II層(④黒灰色粘質土 旧水田耕土) III層(⑤灰白色砂質土)、IV層(⑥黄～灰褐色砂質土、⑦赤橙色砂質土、⑧白灰色粘土)で地表下約1.3mまでの土層堆積状況を確認した。これらの土層から埋蔵文化財は認められなかった。IV層は硬質の土層で地山と判断される。



第29図 調査区平面図



第30図 土層断面図

第10章 七尾東遺跡の発掘調査

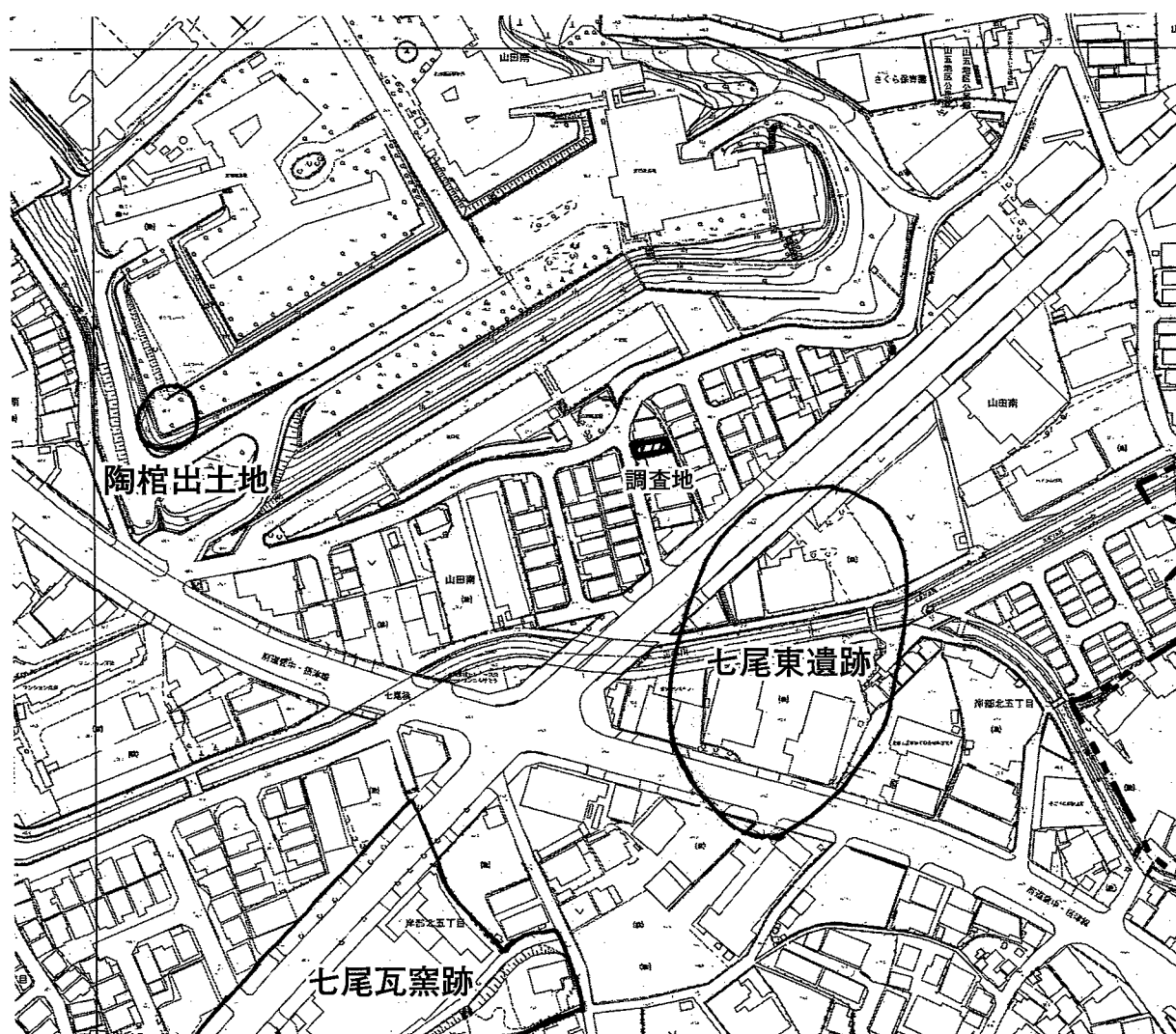
1. 山田南166-3における発掘調査

(1) 調査の経過

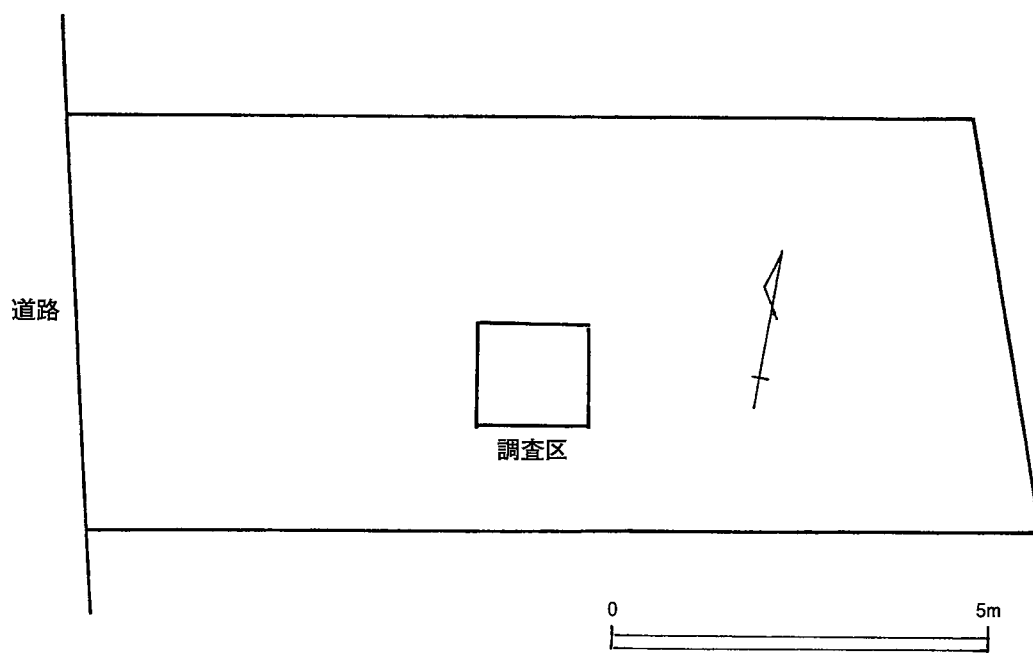
今回の発掘調査は、七尾東遺跡の周辺地となる当調査地において住宅の建築が計画されたことから事前に実施したものであり、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、平成26(2014)年1月8日に調査区を1ヶ所(約2.2㎡)設定し、重機を用いて実施した。

(2) 調査の成果

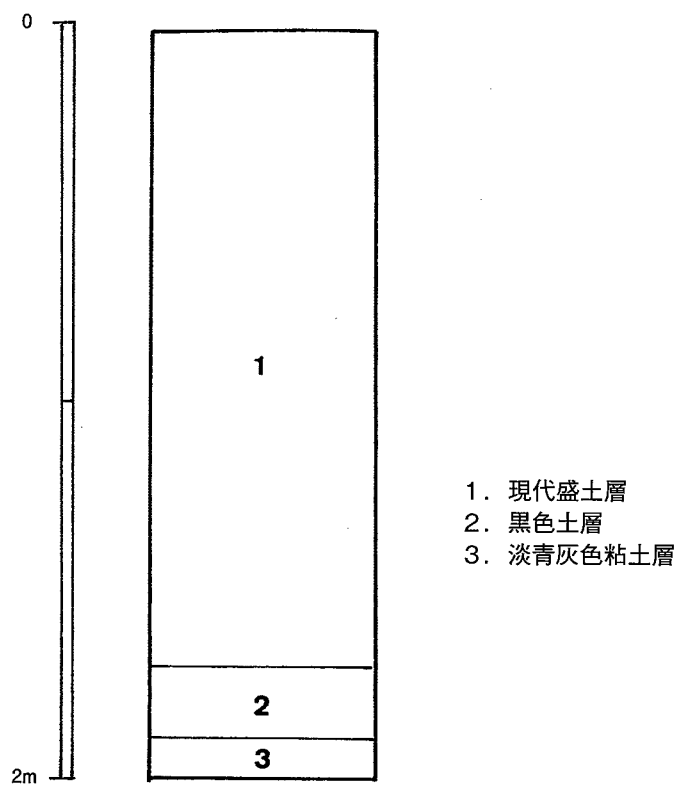
調査区を現地表面から約2mの深さまで掘削したところ、現代盛土層[第1層]以下、旧耕土層である黒色土層[第2層]、淡青灰色粘土層[第3層]の堆積が認められたが、明確な遺構・遺物については確認されなかった。



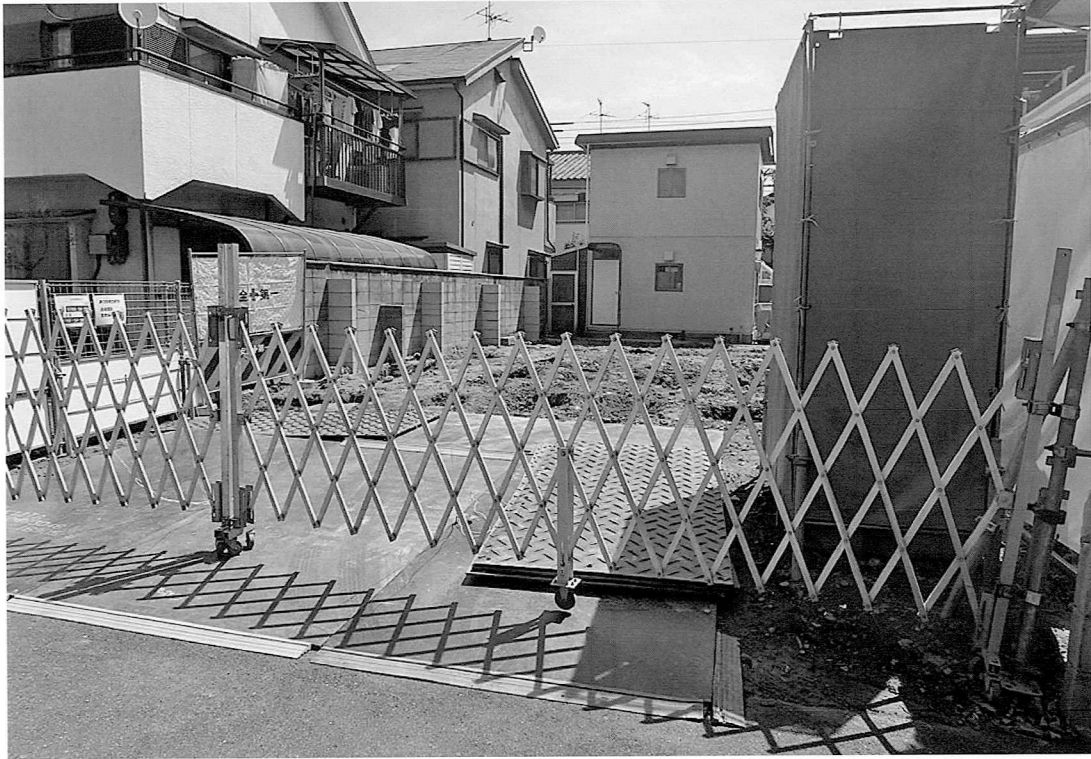
第31図 七尾東遺跡調査地周辺図 [1:2,500]



第32図 調査区平面図



第33図 土層断面図



調査地近景 (西から)



調査区 (北から)

図版 2
高浜遺跡 1期 2



調査区 (西から)



調査区東壁 (西から)



調査地近景（東から）



調査区（北から）

図版4 高浜遺跡第2期2



調査区近景 (東から)



調査区南壁 (北から)

図版5 豊嶋郡条里遺跡1



調査地近景（東から）



調査区（東から）

図版 6
豊鳴郡条里遺跡 2



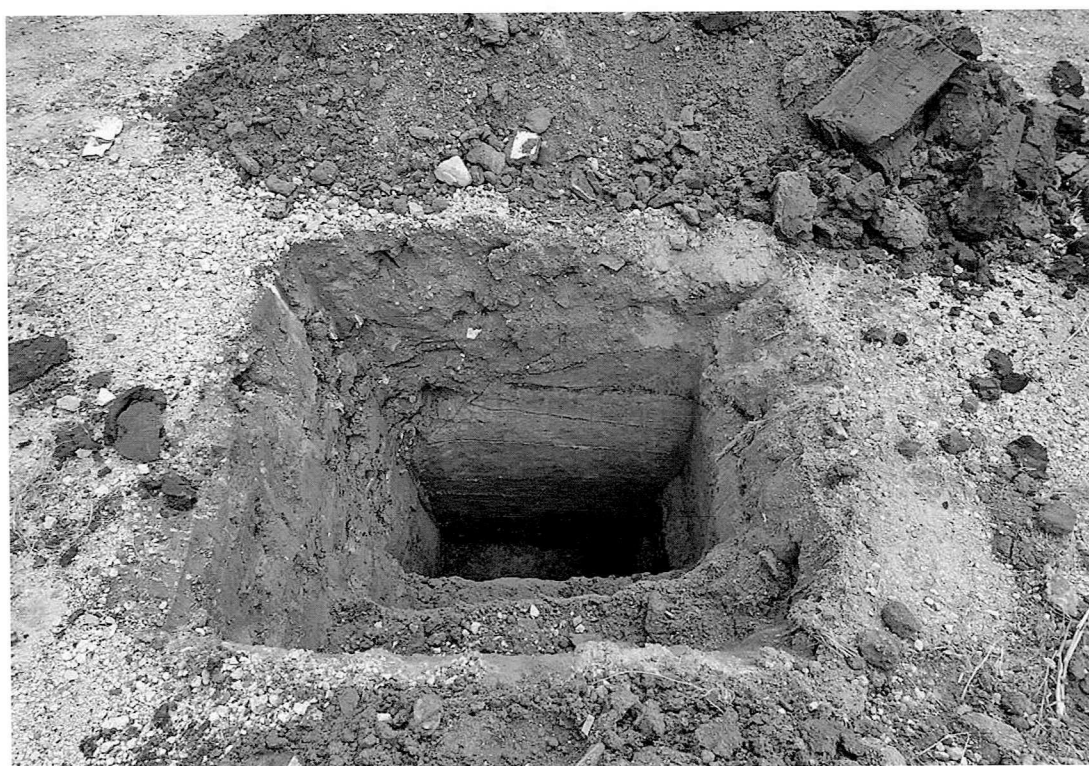
調査区 (南から)



調査区 (東から)



調査地近景（北西から）



調査区（北から）

図版8 垂水中遺跡C地点2



調査区(北から)



調査区(北東から)



T 1 近景 (西から)



T 1 西壁 (東から)

図版10 垂水遺跡第1期2



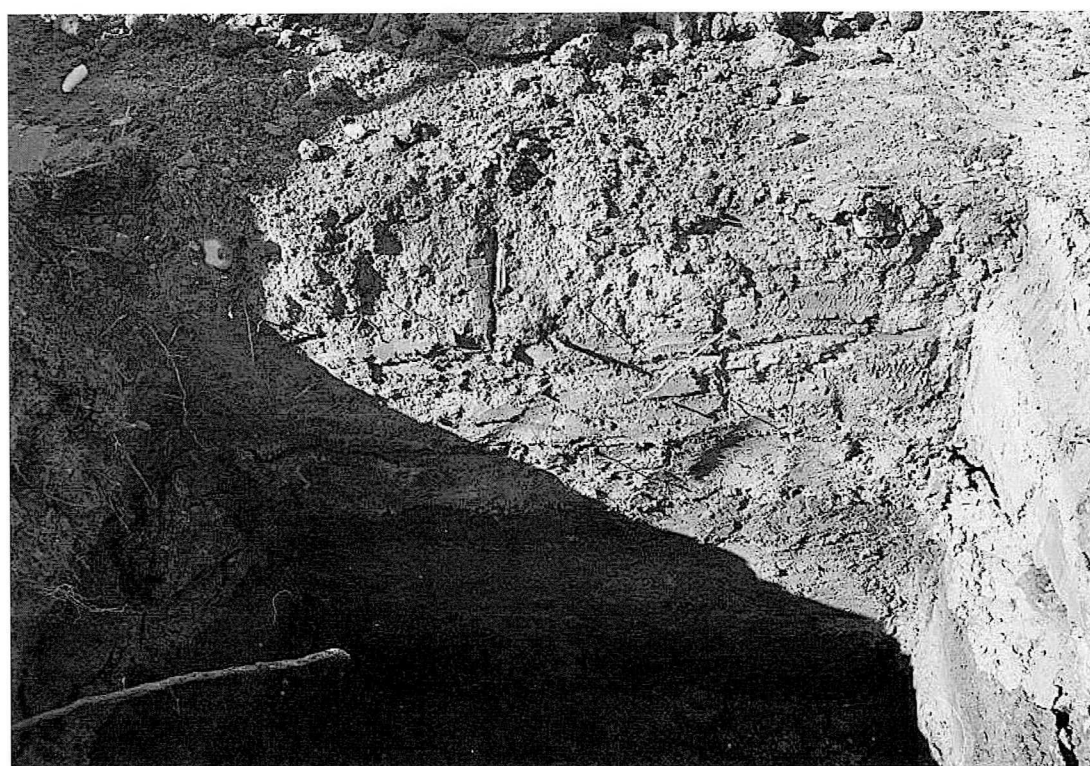
T2近景(東から)



T2西壁(東から)



T1近景(東から)



T1西壁(東から)

図版12
垂水遺跡第2期2



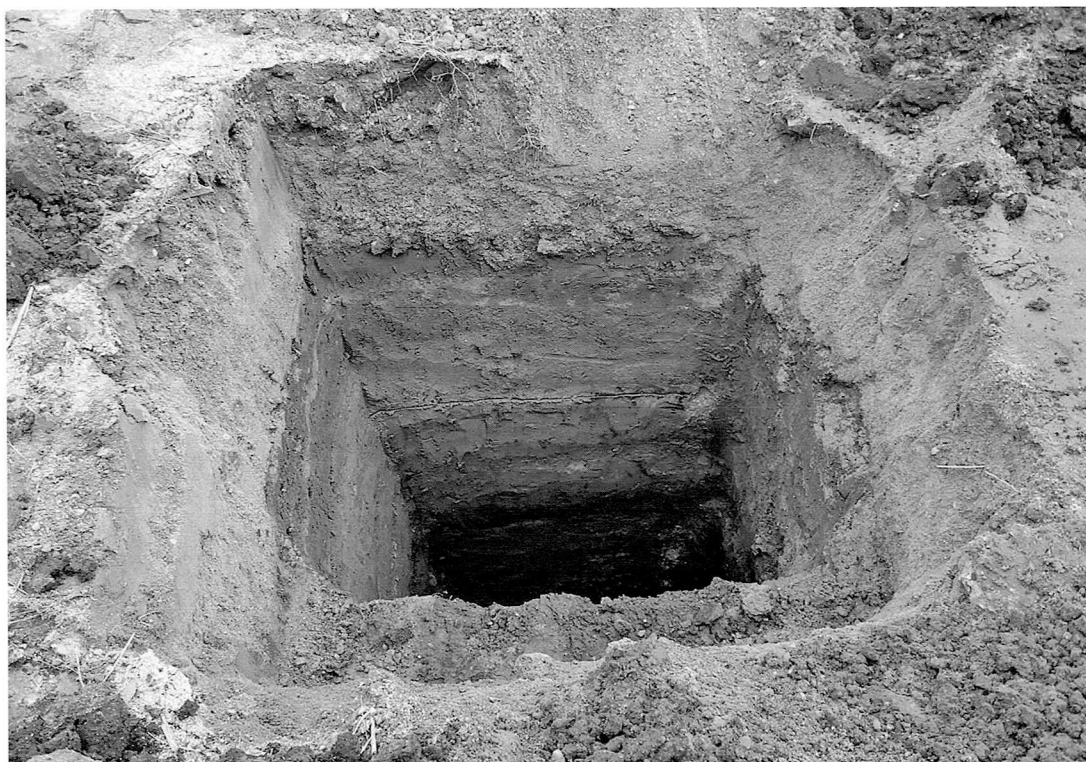
T2近景(東から)



T2西壁(東から)

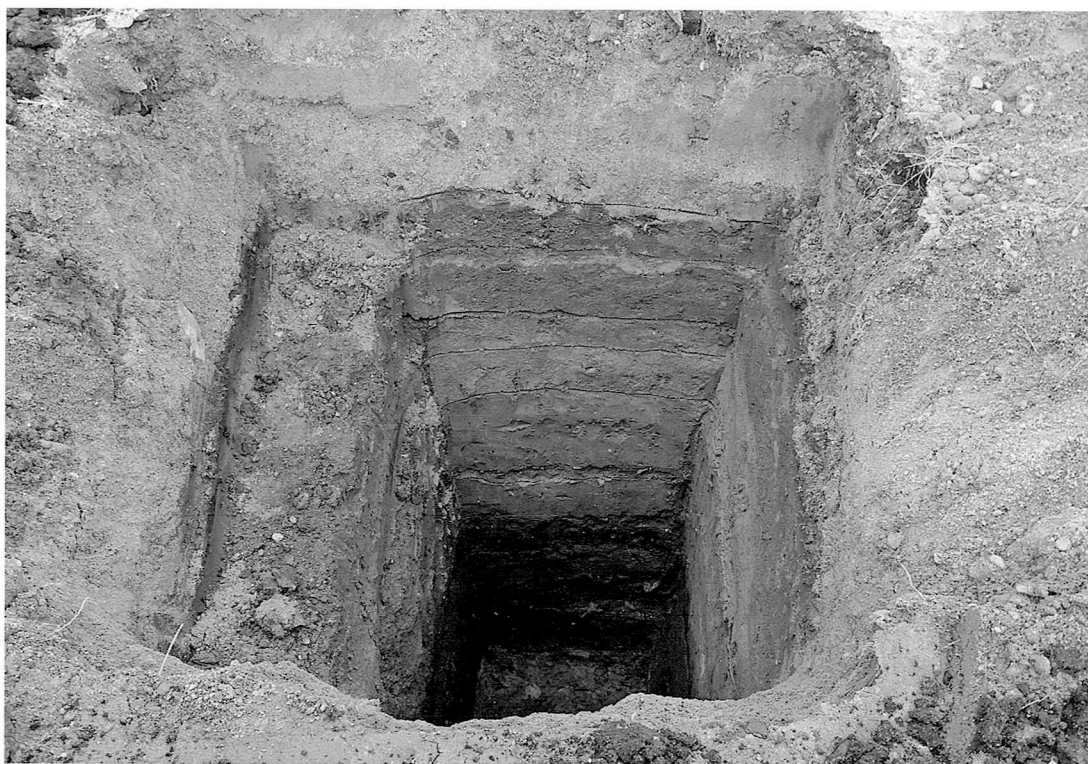


調査地近景 (東から)

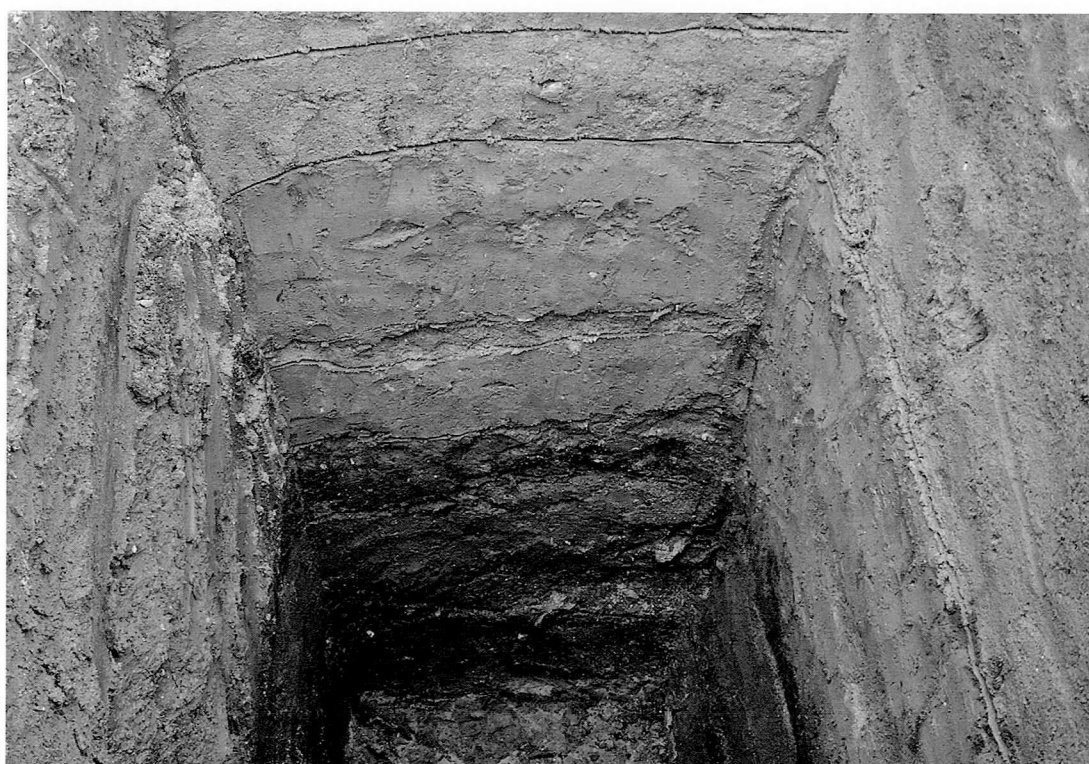


T 1 近景 (南から)

図版14
垂水南遺跡2



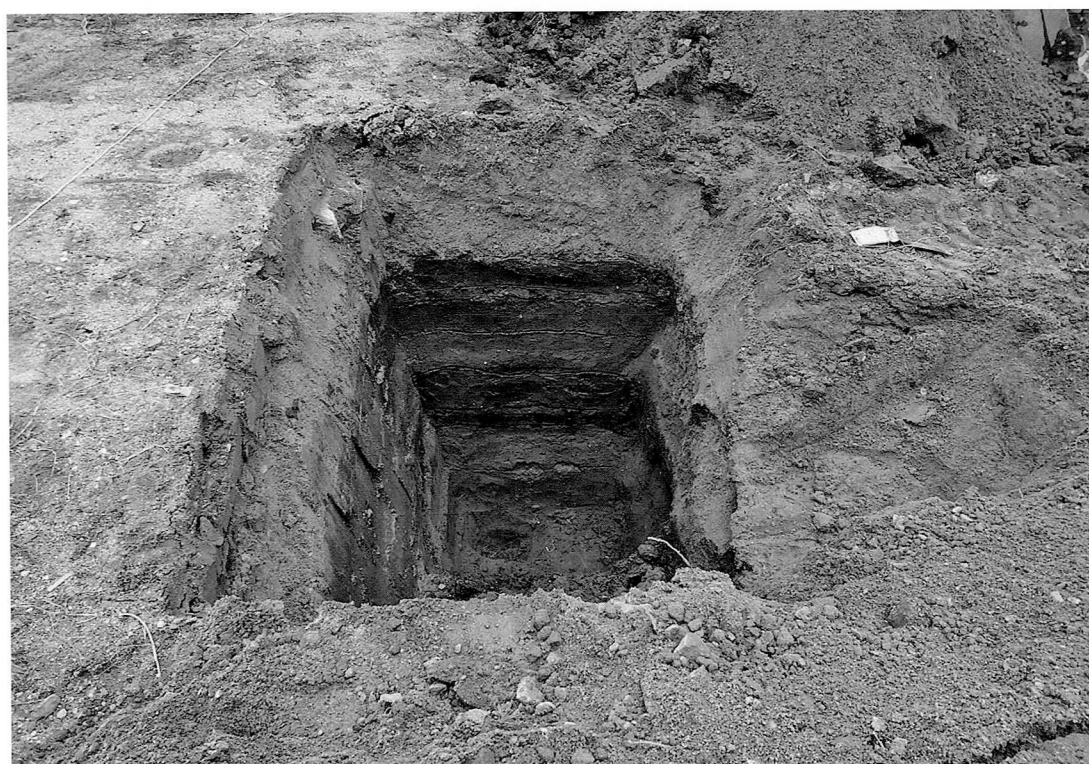
T 1 (東から)



T 1 西壁 (東から)



西壁細部(東から)

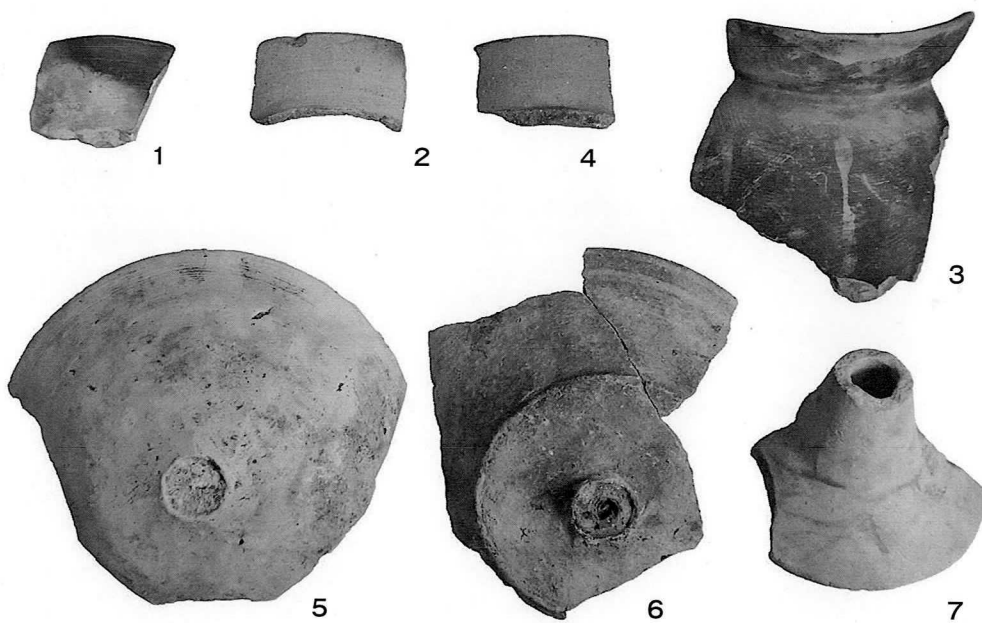


T2近景(北から)

図版16 垂水南遺跡4



T2南壁(北から)



出土遺物

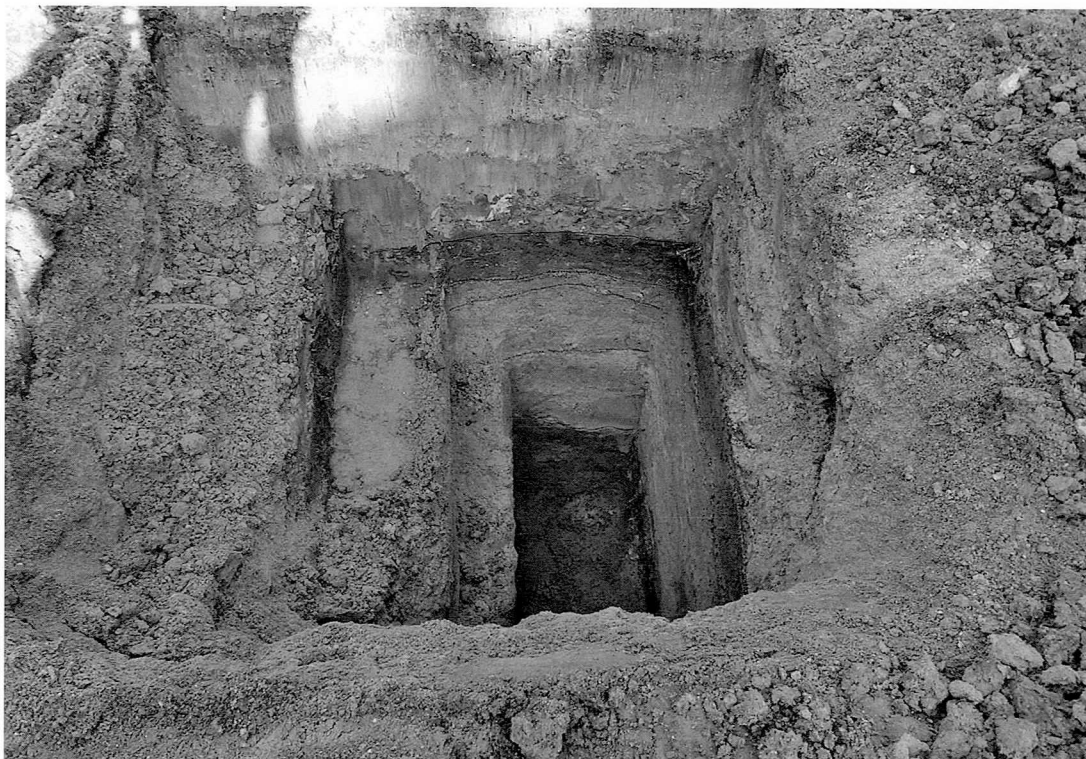


調査地近景 (北東から)

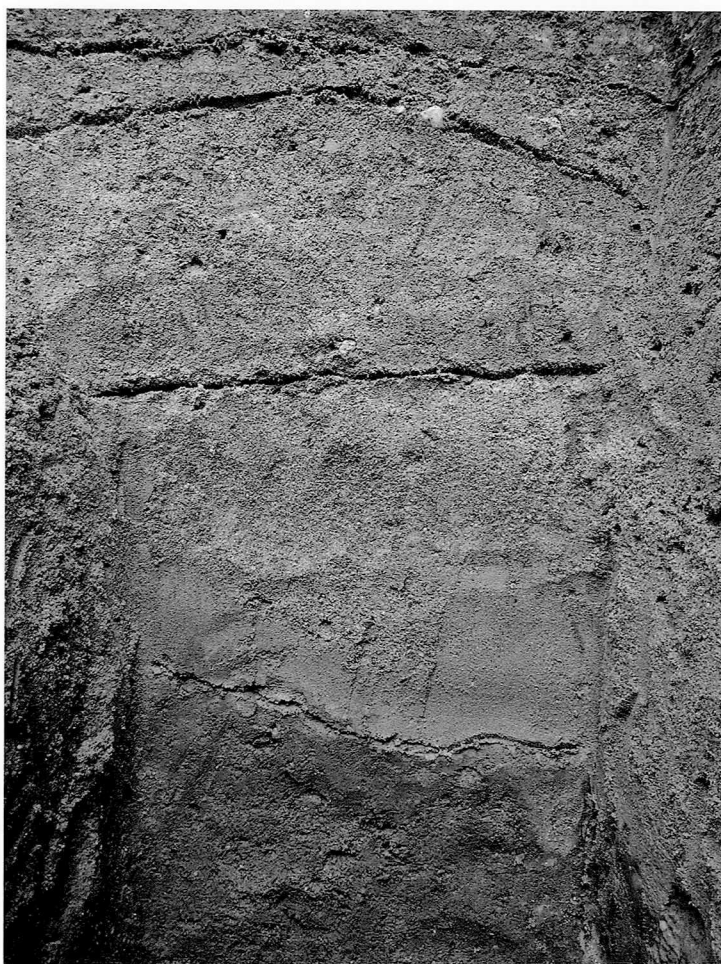


調査区 (西から)

図版18
蔵人遺跡2



調査区（南から）



調査区北壁（南から）

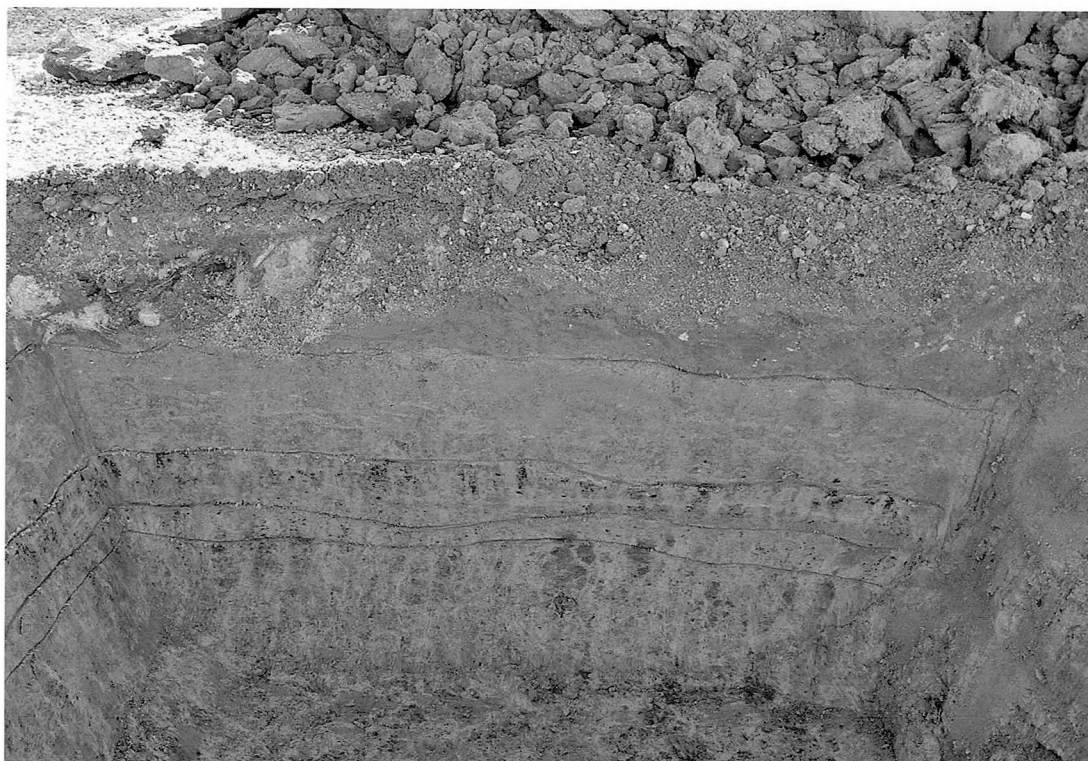


調査地近景（南西から）



調査区（北から）

図版20
片山東屋敷廻遺跡2



調査区南壁（北から）



調査区東壁（西から）



調査地近景（南東から）



調査区（東から）

図版22 都呂須遺跡2



調査区（南から）



調査区北壁（南から）



調査区近景（北から）



調査区南壁（北から）

報告書抄録

ふりがな	へいせい25(2013)ねんどまいぞうぶんかざいきんきゅうはくつちようさがいほう
書名	平成25(2013)年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報
副書名	高浜遺跡 豊嶋郡糸里遺跡 垂水中遺跡C地点 垂水遺跡 垂水南遺跡 蔵人遺跡 片山東屋敷廻遺跡 都呂須遺跡 七尾東遺跡
巻次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編集者名	西本安秀、賀納章雄
編集機関	吹田市教育委員会
所在地	〒564-0041 大阪府吹田市泉町1丁目3番40号 TEL(06)6384-1231
発行年月日	西暦 2014年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 〇°〃	東経 〇°〃	調査期間	調査 面積	調査 原因
		市町村	遺跡番号					
たかはまいせき 高浜遺跡	すいた し たかはまちょう 吹田市高浜町935-3	27205	100	34° 45' 32"	135° 31' 39"	20130520	2	確認調査
たかはまいせき 高浜遺跡	すいた し たかはまちょう 吹田市高浜町925-1、925-6	27205	100	34° 45' 34"	135° 31' 41"	20130827	5.2	確認調査
てしまやんじようりいせき 豊嶋郡糸里遺跡	すいた し いづみちょう 吹田市泉町2-2601-2	27205	95	34° 45' 37"	135° 30' 53"	20130704	4	確認調査
たるみなかいせきしーちてん 垂水中遺跡C地点	すいた し たるみちよう 吹田市垂水町3-946-30	27205	131	34° 45' 48"	135° 30' 15"	20130828	3.2	試掘調査
たるみいせき 垂水遺跡	すいた し たるみちよう 吹田市円山町347-4	27205	86	34° 46' 13"	135° 30' 20"	20131008	4.4	試掘調査
たるみいせき 垂水遺跡	すいた し たるみちよう 吹田市垂水町1-772-2、773の各一部	27205	86	34° 45' 56"	135° 30' 09"	20131118	7.6	試掘調査
たるみいせき 垂水南遺跡	すいた し たるみちよう 吹田市垂水町3-952-19の一部	27205	88	34° 45' 45"	135° 30' 16"	20131129	8.4	試掘調査
くろうどいせき 蔵人遺跡	すいた し とよつちよう 吹田市豊津町608-6の一部	27205	85	34° 45' 43"	135° 29' 29"	20131204	4	確認調査
かたやまひがしやしきまわりせき 片山東屋敷廻遺跡	すいた し かたやまちょう 吹田市片山町4-2894-14	27205	71	34° 46' 22"	135° 31' 35"	20131212	3	試掘調査
とろ すいせき 都呂須遺跡	すいた し もとまち 吹田市元町1080-11	27205	91	34° 45' 36"	135° 31' 28"	20131219	3	試掘調査
ななおりがしいせき 七尾東遺跡	すいた し やまほらみち 吹田市山田南166-3	27205	123	34° 47' 13"	135° 32' 06"	20140108	2.2	試掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
高浜遺跡	集落遺跡	古墳・中世	なし	なし	なし
高浜遺跡	集落遺跡	古墳・中世	なし	なし	なし
豊嶋郡糸里遺跡	集落遺跡	古墳・中世	なし	なし	なし
垂水中遺跡C地点	集落遺跡	古墳・中世	なし	なし	なし
垂水遺跡	集落遺跡	弥生・中世	なし	なし	なし
垂水遺跡	集落遺跡	弥生・中世	なし	土師器(中世)	なし
垂水南遺跡	集落遺跡	古墳・平安	遺物包含層 (古墳・平安時代)	土師器・須恵器(古墳時代)、 黒色土器(平安時代)	なし
蔵人遺跡	集落遺跡	古墳・中世	なし	瓦器・土師器(中世)	なし
片山東屋敷廻遺跡	集落遺跡	古墳・中世	なし	なし	なし
都呂須遺跡	集落遺跡	古墳・中世	なし	なし	なし
七尾東遺跡	集落遺跡	弥生・中世	なし	なし	なし

平成25(2013)年度
埋蔵文化財緊急発掘調査概報

高 浜 遺 跡
豊 嶋 郡 条 里 遺 跡
垂 水 中 遺 跡 C 地 点
垂 水 遺 跡
垂 水 南 遺 跡
蔵 人 遺 跡
片 山 東 屋 敷 廻 遺 跡
都 呂 須 遺 跡
七 尾 東 遺 跡

平成26(2014)年3月31日
編集 吹田市泉町1丁目3番40号
発行 吹田市教育委員会

この報告書は300部作成し、一部当たりの単価は577円です。